SHARP

DVDビデオプレーヤー

形名 DV-SF50

取扱説明書

再生中に切りかえる

画面表示

設定をかえる

故障かな？

その他

DVD VIDEO

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

DOLBY DIGITAL

dts DIGITAL OUT

TruSurround by SRS

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。（4ページ）
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

ページ

接続のしかた

再生のしかた

いろいろな再生

希望するところから再生する(ダイレクト再生)

再生中に切りかえる

ページ

再生中の情報を見る(画面表示)

設定をかえる(セットアップ)

故障かな？と思ったときは

そ　の　他

安全にお使いいただくために

ご使用の前に「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

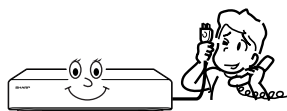
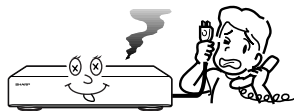
してはいけないことを表しています。

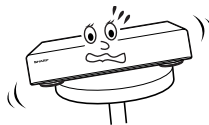
しなければならないことを表しています。

警告

■煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■不安定な場所に置かない

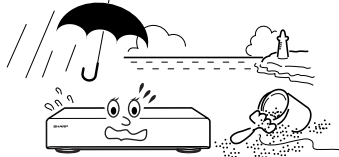
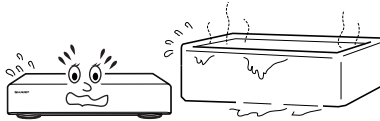
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■表示された電源電圧で使用する

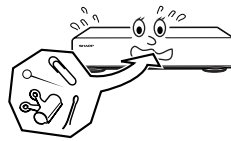
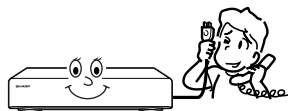
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用すると火災・感電の原因となります。

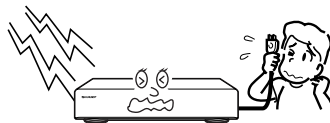
⚠警告

■本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■内部に物や水などを入れない

- 本機の開口部(通風孔、ディスクトレイ開閉口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

- 感電の原因となります。

■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

- そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

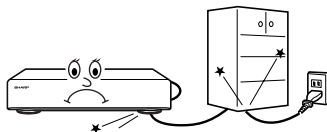
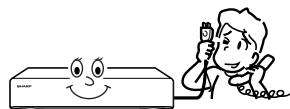
安全にお使いいただくために

⚠警告

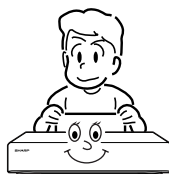
■電源コードを破損するようなことはしない

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

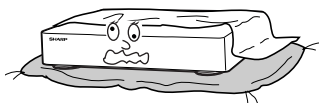
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

■キャビネットは絶対に開けない

- 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

- 本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

⚠注意

■本機の通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

■油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

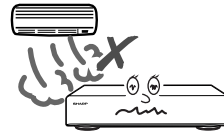
■ディスクトレイ開閉口に手を入れない

- 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

■移動させるときは必ず接続コードを外す

- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。またディスクは取り出しておいてください。
- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えないでください。ケガや故障の原因となることがあります。

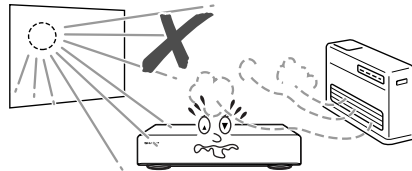
■冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

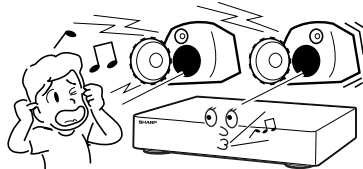
- つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

■重いものを置かない

- この機器に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

- 内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

■本体をテレビやオーディオ機器と接続したときは電源を入れる前にテレビやアンプの音量を最小にする

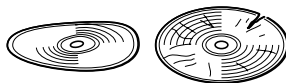
- 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために

⚠注意

■ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

- 飛び散ってけがの原因となることがあります。

■お手入れのときは電源プラグを抜く

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

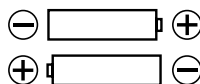
■旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

- 本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

■電池を入れるときは極性表示 (プラス⊕とマイナス⊖) の向きに注意する

- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

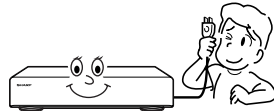
- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

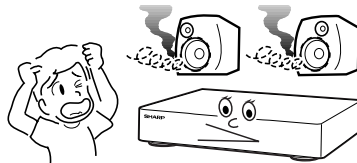
⚠注意

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

● コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

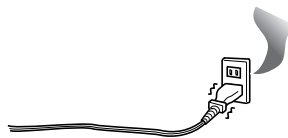
■テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜く

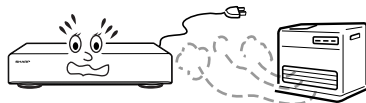
● 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

■長時間、音が歪んだ状態で使わない

● スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

● 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
● 刃にふれると感電の原因となることがあります。

■電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

● 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■電源コードを熱器具に近づけない

● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

● 感電の原因となることがあります。

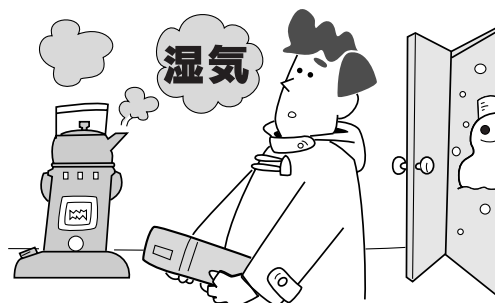
使用上のお願い

結露(つゆつき)について

■**結露ってどうなるの？**

暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。
これを**結露（つゆつき）**と呼びます。
このプレーヤーを

●寒い所から暖かい所へ急に移動させたとき。
●暖房を始めたばかりの部屋で操作するとき。
●湿気の多い所で使うとき。
●エアコンのそばなど、直接冷風の当たる場所で使うとき。

など、内部で**結露**が起こったり、内部のレンズにつゆ(水滴)がつき、正しく動作しないことがあります。

■**よく乾燥させてからお使いください。**

このようなときは、**電源ボタン**を「**入**」にしたまま、**しばらく乾燥のため放置して**、湿気がなくなるまで操作しないでください。乾燥すると、正常に動作するようになります。

■**結露が起こりそうなときは、よく乾燥させてからお使いください。**

このプレーヤーを移動させたあとなどはすぐに使用せず、**電源ボタン**を「**入**」にしたまま、しばらくは乾燥のため放置して、湿気がなくなるまで操作しないでください。

ディスクの取り扱い

■再生面(虹色に光っている面)に触れないように持ちます。

■紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。

■直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)

■使用後は、**所定のケースに入れて、たてて置いてください。**
ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。

■指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。

■お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

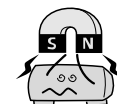
■ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

■次のロゴマークが付いたディスクをご使用ください。詳しくは[➡ 13ページ]をご覧ください。

プレーヤーの置き場所や取り扱い

■高温状態をさけてください。
窓を閉めきった自動車の中など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

■砂に注意しましょう。
砂浜や砂ぼこりの多い所で使用する場合は、砂などが内部にはいらないようにしてください。

■携帯電話、トランシーバーなどの強い電波を発生するモノの近くに置かないでください。電波の影響でこのプレーヤーが動かなくなります。

■テレビの近くに置くと、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。このような場合は、テレビから離してください。

■ご使用にならないときは、必ず**停止ボタン**を押してからディスクを取出し、電源を切ってください。

■長期間使用しないと機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて作動させてください。

■国外では使えません。
このプレーヤーは日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This DVD player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

リモコンの取り扱い

■乾電池の交換時期
リモコンで操作できる距離が短くなってきた場合は、乾電池が消耗しています。
すべて同時に新品に交換し、新旧を混ぜて使用することは避けてください。
付属の乾電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

■リモコン保管時のご注意
長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り外してから保管してください。

プレーヤーやリモコンのお手入れ

■ベンジン、シンナーなどでふかないでください。
キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。アルコール/ベンジン/シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

■キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、渇いた布で仕上げてください。

■化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。

■キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

レーザーピックアップについて

■この取扱説明書の該当部分と、**故障かな？と思ったときは**をよくお読みになり、操作を行っても正常に動作しない場合は、**レーザーピックアップが汚れている**可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの**販売店**にご相談ください。

修理について

■このプレーヤーが動作しなくなった場合は、**ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの**販売店**にご相談ください。

使用上のお願い

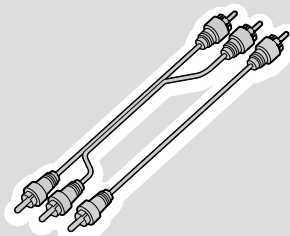
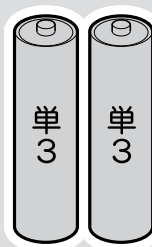
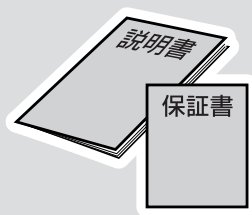
リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めに従って梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制に従って処分してください。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

付属品 (必ずお確かめください)

リモコン　映像・音声コード　単3乾電池(2個)　取扱説明書・保証書

この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。(本文ではDVDと表現します。)

CD オーディオCDで楽しめる機能を表します。

VCD ビデオCDで楽しめる機能を表します。

MP3 MP3が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

ちょっと一言! 操作上、気を付けていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

ディスクについて

再生できるディスク

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音　声＋映像(動画)	12cm盤
		8cm盤
DVD-R/DVD-RW* ビデオモードで記録されているディスク	音　声＋映像(動画)	12cm盤
		8cm盤
ビデオCD NTSC方式のビデオCD	音　声＋映像(動画)	12cm盤
		8cm盤
音楽用CD	音　声	12cm盤
		8cm盤（シングル）
CD-R/CD-RW* 音楽CDフォーマット、 MP3ファイル形式で記録されたディスク	音　声	12cm盤
		8cm盤

※ファイナライズしていないディスクや、ビデオレコーディングフォーマット記録（VR記録）のディスクは再生できません。

ちょっと一言！

DVDビデオディスク

- このプレーヤーは、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどの, ほかの方式で記録されたディスクは再生できません。
- DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。
  本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。（リージョン番号が2以外でも「ALL」と表記されているディスクは、再生できます)。

DVD-R/DVD-RWの記録モードについて

- ビデオモードとは、一般的なDVDプレーヤーで再生が可能なモードです。DVD-R Ver2.0以降、DVD-RW Ver1.1以降のディスクに記録できるモードです。ビデオレコーディングフォーマット（VR記録）とは、DVDフォーラムの標準規格に準拠した多彩な録画機能、編集が可能な記録モードです。（本機では再生できません)。

DVDビデオディスクに表示されている マーク

音声記録方式

4

複数の音声トラックが収録されていることを示すマークです。マーク内に記載されている数字は、ディスクに収録されている音声数を示します。

マルチアングル機能表示

マルチアングル機能を有するディスクであることを示すマークです。マーク内に記載されている数字は、アングル数を示します。

サブタイトル表示

2

ディスクに収録されている字幕言語数を示すマークです。マーク内に記載されている数字は、字幕言語数を示します。

映像アスペクト比表示

16:9 LB

アスペクト比切り替え可能な画面タイプを示すマークです。

リージョン番号

再生可能地域番号を表示しています。

ちょっと一言！

■ 上記のディスク以外は再生できません。
■ 8cmアダプター（オーディオCD用）は使わないでください。故障の原因となります。
■ DVD-R/RW、CD-R/RWを再生するとき、ディスクの記録状態が記録用機器、ディスク自体の状態、ディスクとの相性によっては再生できないことがあります。

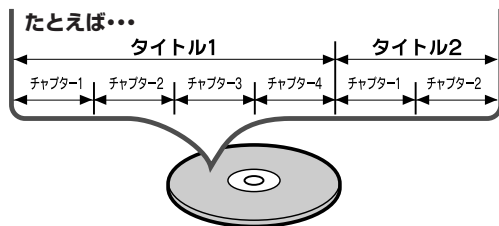
ディスクについて

ディスクの構成

DVD

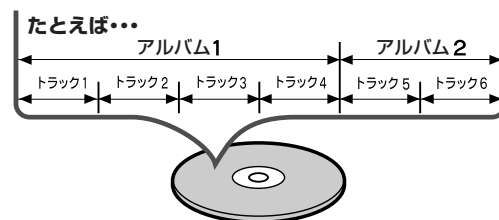
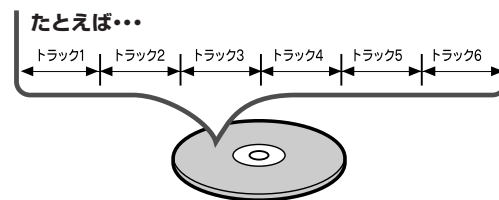
ディスク上のデータは、**タイトル**と呼ばれる部分に分けられており、また各**タイトル**は、**チャプター**というさらに小さな部分に分けられ、それぞれにタイトル番号またはチャプター番号が与えられています。

一部のディスクでは、再生条件があらかじめ設定されており､お客様の操作よりもこの再生条件の方が優先されます。ご自分が選択した機能が希望どおりに実行されない場合には、ディスクに付属されている説明書をお読みください。

たとえば･･･
タイトル1
タイトル2
チャプター1
チャプター2
チャプター3
チャプター4
チャプター1
チャプター2

オーディオCD
ビデオCD

オーディオCDやビデオCD上のデータは、**トラック**と呼ばれる部分に分けられ、それぞれにトラック番号が付けられています。

CD-R/RW（MP3ファイル形式）

MP3のデータは**アルバム**と呼ばれる部分に分けられ、**各アルバム**は**トラック**という小さな部分に分けられています。MP3データ作成の際、アルバムやトラックは**階層**に分けて記録させることができます。（記録方法はMP3レコーダの説明書をご覧ください。）本機では8階層まで認識することができます。

ビデオCDについて

ビデオCDには下記の2種類のソフトがあり、それぞれ操作や機能が違います。

■ PBC対応でないソフト（バージョン1.1）
音楽用CDと同様に操作します。映像と音楽が再生できます。

■ PBC対応ソフト（バージョン2.0）
対話型、検索機能などソフト固有のメニューがついており、メニュー画面にしたがって多様な再生ができます。

- PBCとはプレイバックコントロールの略称です。
- ビデオCDバージョン2.0（PBC対応ソフト）には、再生をコントロールするための信号が記録されています。このDVDプレイヤーでPBC対応ソフトを再生すると、PBC機能により、ディスク固有のメニュー画面を使って動画や静止画再生を可能にします。
- PBC（プレイバックコントロール）対応ソフトはそれぞれ操作が異なります。操作方法についてはソフトに付属の説明に従ってください。
- PBC対応ソフトは説明書やケースに種類が記されています。

ご注意

- PBC対応ソフト再生時は、PBC機能が優先され、DVDプレーヤー側の設定（希望するところからの再生やリピート再生）は、機能しません。

おもな特長

ドルビーデジタルサラウンド [➡ 59ページ]
●ドルビー研究所が開発した音声圧縮方式で5.1チャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

DTS(デジタルシアターシステム) [➡ 60ページ]
●デジタルシアターシステム社が開発した、原音に限りなく忠実な5.1チャンネルサラウンドシステムを楽しむことができます。

静止、早送り、早戻し、スロー再生、コマ送り再生 [➡ 26～30ページ]
●静止画再生、早送り再生、早戻し再生、スロー再生、コマ送り再生などの再生ができます。

ランダム再生(オーディオCD) [➡ 34ページ]
●本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

プログラム再生(オーディオCD) [➡ 33ページ]
●本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

DVDメニュー言語切り換え [➡ 51ページ]
●DVDに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

自動電源オフ機能 [➡ 25ページ]
●初期設定でオートパワーオフ機能を[オン]に設定した場合、一時停止、停止状態で35分間入力がないと、電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示 [➡ 51ページ]
●希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➡ 42ページ]
●異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 51、58ページ]
●複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

パレンタル設定 [➡ 61ページ]
●パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

ディスクの自動判別
●DVD、ビデオCD、オーディオCDを自動的に判別して再生します。

スクリーンセーバー
●何も操作しない状態が5分以上続くと、スクリーンセーバー機能が働きます。

MP3再生 [➡ 44ページ]
●CD-RやCD-RWに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

TruSurround [➡ 48ページ]
●バーチャルサラウンド(疑似)サラウンドを楽しむことができます。

画面表示 [➡ 48ページ]
●各時点で行っている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

ダイレクト再生 [➡ 37ページ]
●チャプターサーチ：
　ユーザーが指定したチャプターを頭出しすることができます。
●タイトルサーチ：
　ユーザーが指定したタイトルを頭出しすることができます。
●トラックサーチ（＊1）：
　ユーザーが指定したトラックを頭出しすることができます。
●タイムサーチ（＊1）：
　ユーザーが指定したタイムを頭出しすることができます。

リピート [➡ 31ページ]
●チャプター：
　再生中のディスクのチャプターを繰り返して再生することができます。
●タイトル：
　再生中のディスクのタイトルを繰り返して再生することができます。
●トラック：
　再生中のディスクのトラックを繰り返して再生することができます。
●オール（オーディオCD、ビデオCD（＊1)、）：
　再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
●A-B：
　ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。
●ディスク（MP3）：
　再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。

ズーム [➡ 43ページ]
●×2または×4に拡大した画面を表示させることができます。

マーカー [➡ 49ページ]
●ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

つづき再生 [➡ 27ページ]
●再生をストップした位置からつづけて再生を再開することができます。

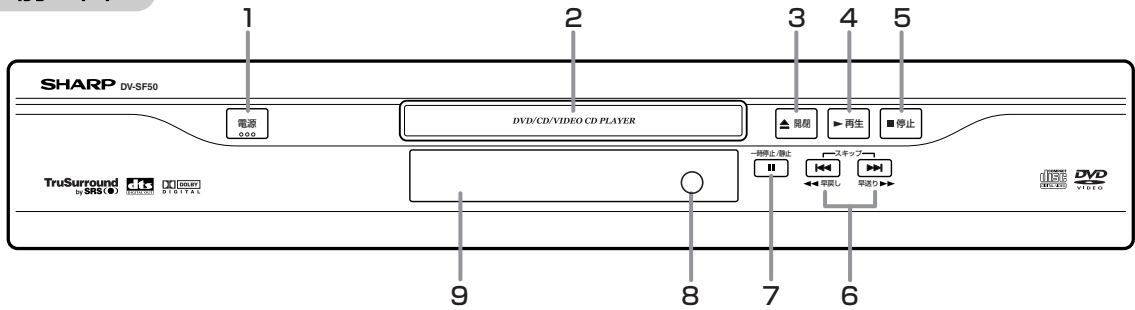
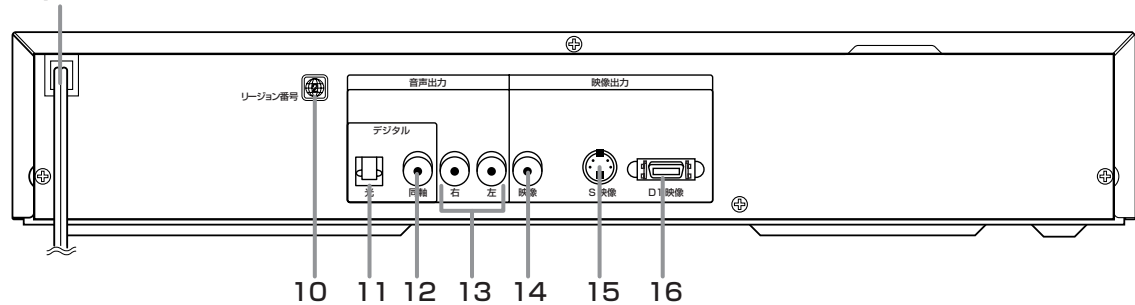
ビットレート表示 [➡ 48ページ]

DRC [➡ 59ページ]

(＊1)PBC対応のビデオCD再生時は、PBC機能が優先され、DVDプレーヤー側の設定(希望するところからの再生やリピート再生)は、機能しません。

各部のなまえ

前　面

後　面

1. 電源ボタン [24ページ]
・電源を入／切します。

2. トレイ [24ページ]
・ディスクをセットします。

3. 開／閉ボタン [24ページ]
・ディスクトレイを開閉します。

4. 再生ボタン [25ページ]
・ディスクを再生します。

5. 停止ボタン [25ページ]
・再生を停止します。

6. スキップ（早戻し／早送り）ボタン [26、28ページ]
・再生中に押すとチャプターやトラックの頭出しをします。
・再生中に 2 秒以上押すと早送りサーチ／早戻しサーチになります。

7. 一時停止／静止ボタン [28ページ]
・再生を一時停止／静止します。

8. リモコン受光部 [18ページ]

9. 表示部 [19ページ]

10. リージョン番号 [13ページ]
・本機のリージョン番号は 2 です。

11. 光デジタル音声出力端子 [22ページ]
・光デジタル音声入力端子付きの機器と接続します。

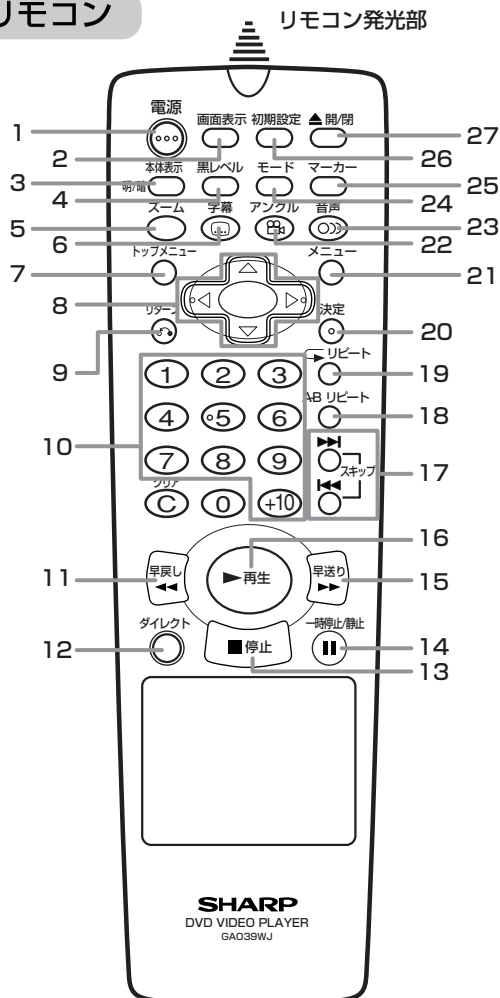
12. 同軸デジタル音声出力端子 [22ページ]
・同軸デジタル音声入力端子付きの機器と接続します。

13. 音声出力端子 [20ページ]

14. 映像出力端子 [20ページ]

15. S映像出力端子 [20ページ]
・S映像入力端子付きのテレビと接続します。

16. D1映像出力端子 [20ページ]
・D映像入力端子付きのテレビと接続します。

リモコン

1. 電源ボタン [24ページ]
・電源の入／切に使用します。

2. 画面表示ボタン [48ページ]
・再生情報を表示します。

3. 本体表示明/暗ボタン [19ページ]
・表示部の明るさを変更します。

4. 黒レベルボタン [49ページ]
・画面で暗いところを明るくします。

5. ズームボタン [43ページ]
・DVD（VCD）再生画像の一部を拡大します。

6. 字幕ボタン [41ページ]
・字幕（言語）を切り換えます。

7. トップメニューボタン [36ページ]
・DVDディスクの最上層のメニューを表示します。

8. カーソルボタン（４方向） [35ページ]
・画面での設定に使用します。

9. リターンボタン [35、47ページ]
・１つ前の設定画面に戻ります。
またMP3ディスクでプログラムの内容を記憶した状態で停止するときに使用します。

10. 数字ボタン [33ページ]
・各設定、選択などに使用します。

11. 早戻しボタン [26ページ]
・お好みの位置まで戻します。

12. ダイレクトボタン [37ページ]

13. 停止ボタン [25ページ]
・ディスクの再生を止めます。

14. 一時停止／静止ボタン [28ページ]
・ディスクの再生を一時的に止めます。
また、コマ送りするときに使用します。

15. 早送りボタン [26ページ]
・お好みの位置まで進めます。

16. 再生ボタン [25ページ]
・ディスクの再生を始めます。

17. スキップボタン [28ページ]
・お好みの場面や曲の頭出しをします。

18. A-Bリピートボタン [32ページ]
・お好みの部分だけを繰り返し再生します。

19. リピートボタン [31ページ]
・再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックの繰り返し再生をします。

20. 決定ボタン [35ページ]
・選択した項目を確定するときに使用します。

21. メニューボタン [35ページ]
・DVDやPBC対応ビデオCDのディスクメニュー画面を表示します。

22. アングルボタン [42ページ]
・再生画のアングル（角度）を変更します。

23. 音声ボタン [40ページ]
・音声（言語）を切り換えます。

24. モードボタン [33ページ]
・プログラム再生画面、ランダム再生画面に切り換えるときに使用します。

25. マーカーボタン [49ページ]
・頭出ししたい箇所を指定します。

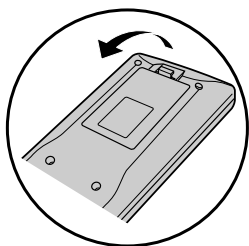
26. 初期設定ボタン [51ページ]
・各設定に使用します。

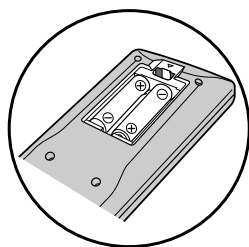
27. 開／閉ボタン [24ページ]
・トレイの開閉をします。

ちょっと一言！

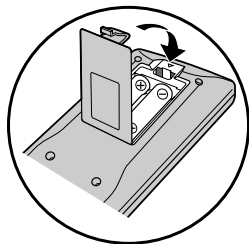
■ リモコンへの電池の入れ方、操作方法については、18ページをご覧ください。

リモコン乾電池のいれかた

1

リモコン裏側のフタをはずす

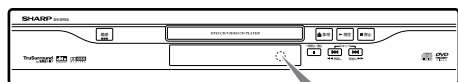
2

乾電池を入れる

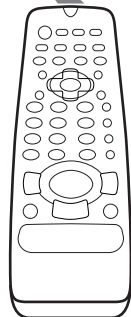
●(＋)(－)を確かめる
●(－)側を先に入れる

3

フタを付ける

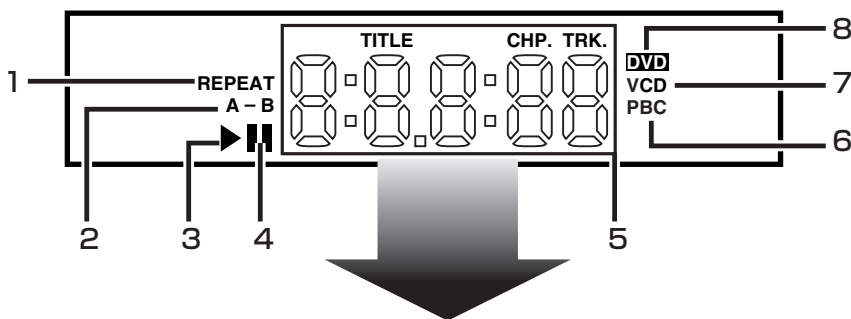
ちょっと一言！

■ アルカリ電池とマンガン電池を一緒に入れないでください。
■ 古い電池と新しい電池を一緒に入れないでください。
■ リモコンのボタン名表示パネルには透明保護シートが貼ってあります。
一部はがれたり、気泡が入っていても不良ではありません。
文字が見にくい場合は透明保護シートをはがしてお使いください。
■ 付属の単3乾電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

リモコンの操作方法

センサーにむけて
操作してください。

受信許容範囲
距離－本体正面より7メートル以内
角度－本体正面より左右30度以内、
　上下15度以内

ちょっと一言！

■ リモコンは発光部を本体のリモコン受光部に向け、本体正面で約7m以内のところから操作してください。
■ リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。
■ 表示部にはキズ防止のため保護シートを貼付けています。ご使用になる前に必ずはがしてください。

表示部について

動作時のディスプレイ表示について

電源を入れたとき	P-ON	トレイを閉めたとき	CLOSE
ディスクが入っていないとき	- - - - -	ディスク読み込み中	LoAd
トレイを開けたとき	OPEN	電源を切ったとき	P-OFF

1. リピート表示[31ページ]
リピート機能がONになっている間は点灯したままです。

2. A-B間リピート表示[32ページ]
A-Bリピート機能がONになっているときに点灯します。

3. 再生表示[25ページ]
入っているディスクが再生されているときに点灯します。

4. 一時停止表示[28ページ]
入っているディスクが一時停止状態になると点灯します。

5. タイトル/チャプター/トラック/再生時間表示
現在再生されているディスクの経過時間を表示します。チャプターかトラックを切り換えると、新しいタイトル、チャプターまたはトラックの番号が表示されます。

6. PBC表示[25ページ]
PBC対応のビデオCDがトレイに入っているときに点灯します。

7. VCD/CD表示[25ページ]
CD：CDがトレイに入っているときに点灯します。
VCD：ビデオCDがトレイに入っているときに点灯します。

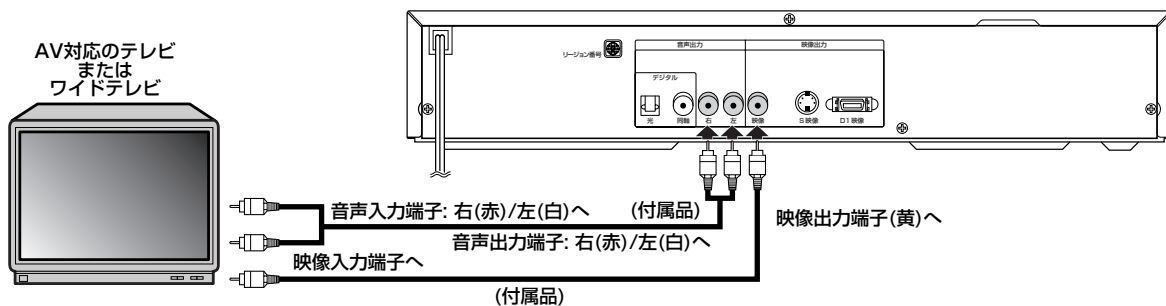
8. DVD表示[25ページ]
DVDがトレイに入っているときに点灯します。

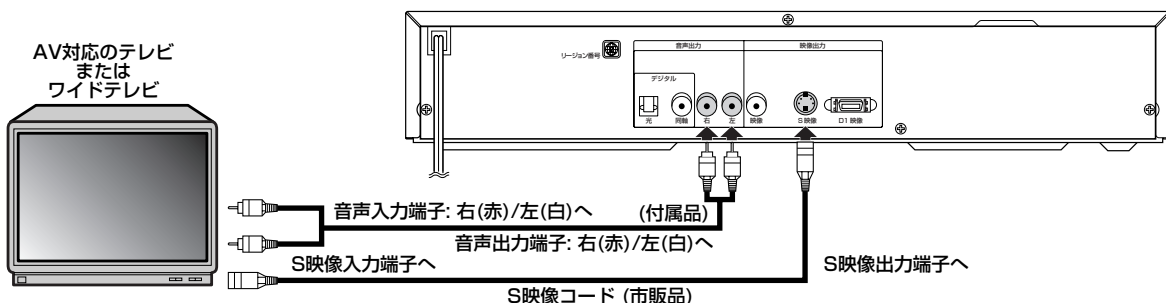
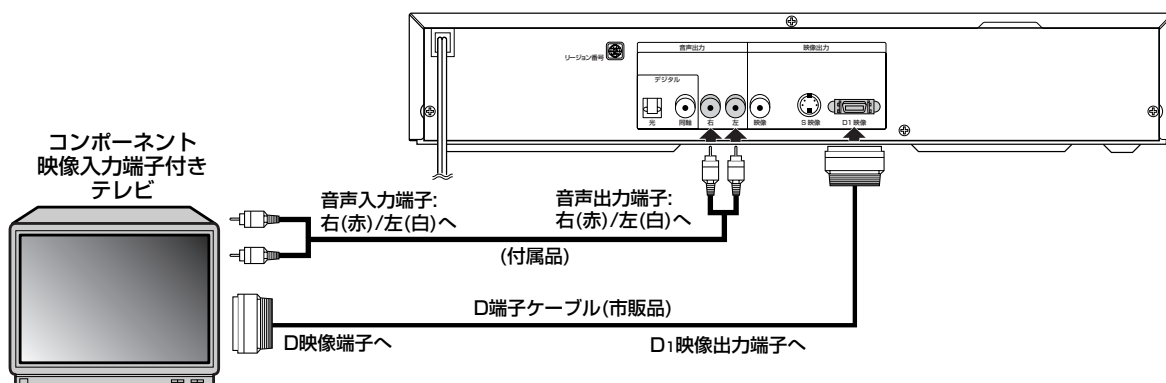
ちょっと一言!

■ リモコンの本体表示明/暗ボタンを押すと表示部の明るさを変えることができます。

テレビとの接続

接続を始める前に…

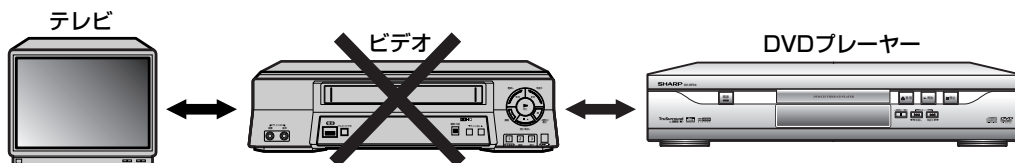
■このプレーヤーの電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
■接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

S映像入力端子付テレビをお使いの場合

黄色の映像コードで接続する代わりにS映像コード（市販品）を使用して接続します。
さらに鮮明な映像を楽しむことができます。

コンポーネント映像入力端子(D端子)付テレビをお使いの場合

ちょっと一言！

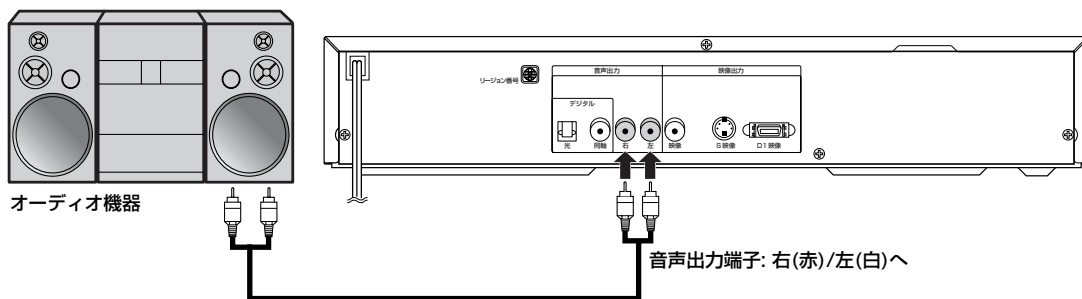
■ テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY、CB/PB、CR/PRのピンジャックタイプのときは、市販のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグ×3）をご使用ください。

コンポーネント映像入力端子(D端子)とは？

■コンポーネント映像入力端子(D端子)を備えたテレビやモニターがあります。この端子にこのプレーヤーを接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。
D1映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D端子ケーブル(市販品)を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で、簡単にコンポーネント映像の接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
コンポーネント映像入力端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言！
■ ワイドテレビ(16:9)に接続した場合はこのプレーヤーの設定を変更する必要があります。
[➡ 55 ～ 57ページ]
■ このプレーヤーはテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。
■ 本機はハイビジョン対応のコンポーネント(Y/PB/PR)映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。(映像は写りません。)

アナログオーディオ機器との接続

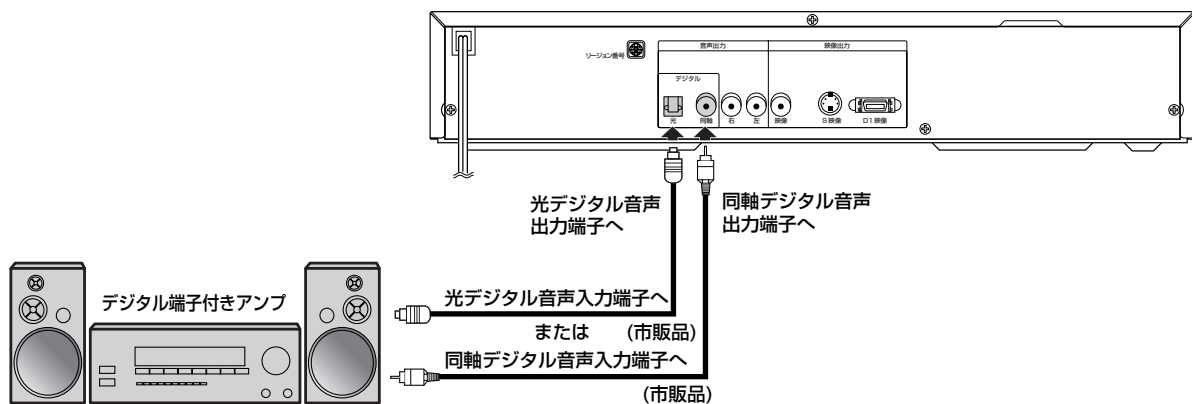
接続を始める前に…

■このプレーヤーの電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
■接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

＊テレビとの接続に付属品をお使いの場合は、市販品をお求めください。

デジタル入力端子付きアンプとの接続

接続を始める前に…

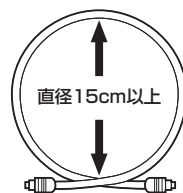
■このプレーヤーの電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
■接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル入力端子付きアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）またはオーディオ用光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

■ 各音声モードに対応していないアンプをご使用の場合は、「設定をかえる」で、音声設定の[ドルビーデジタル]と[DTS]を[オフ]にセットしてください。（工場出荷時は[オフ]） 正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[59～60ページ]
■ ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

光デジタル音声出力端子について

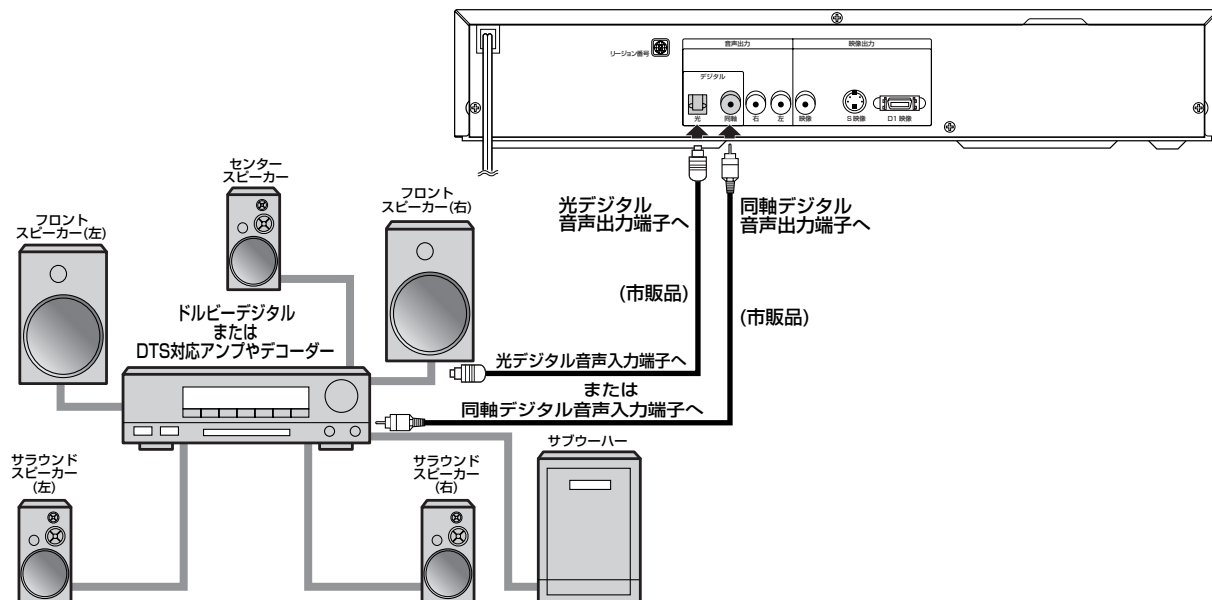
■光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、また他の外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

光デジタルケーブルについて

■光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
長さは3m以下のものを使用してください。
プラグにほこりがある場合には、柔らかい布で拭いてから接続してください。

ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーとの接続

接続を始める前に…

■このプレーヤーの電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
■接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
■接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

5.1チャンネルドルビーデジタルサラウンド、またはDTSサラウンドフォーマットのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーにこのプレーヤーを接続することで高品質のサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、(市販の)同軸デジタルケーブル、または(市販の)オーディオ用光デジタルケーブルをご利用ください。

ちょっと一言!

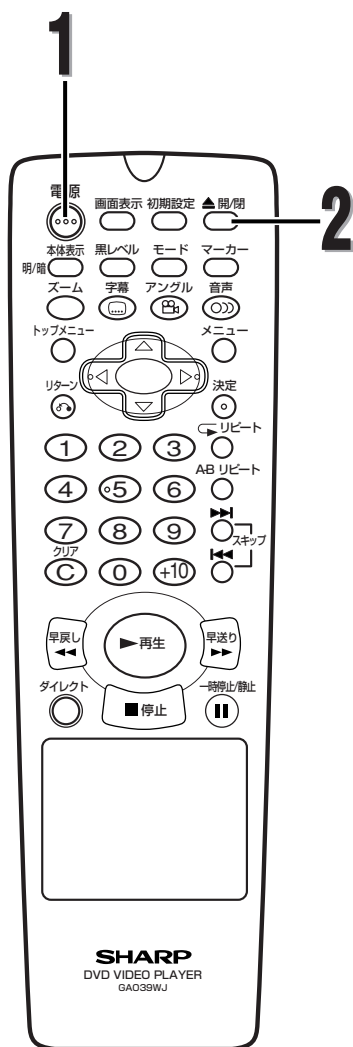
■ ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「設定をかえる」で音声設定の[ドルビーデジタル]を[オン]にしてください。[➡ 59ページ]
■ DTS対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「設定をかえる」で音声設定の[DTS]を[オン]にしてください。[➡ 60ページ]
■ ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、「設定をかえる」で音声設定の[ドルビーデジタル]と、[DTS]を[オフ]にしてください。(工場出荷時は[オフ]) 正しくない設定でDVDディスクを再生すると音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[➡ 59〜60ページ]

再生のしかた

DVD、オーディオCD、ビデオCDの再生

DVD　CD　VCD

再生を始める

テレビ、アンプ、その他、このDVDプレーヤーに接続されているコンポーネントの電源をすべて入れます。(入力方式をこのDVDプレーヤーに適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。)

1

電源ボタンを押す

● 電源が入ります。

電源

2

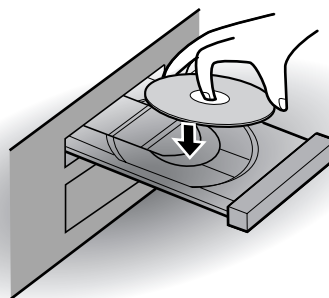
開/閉ボタンを押す

● ディスクトレイが開きます。

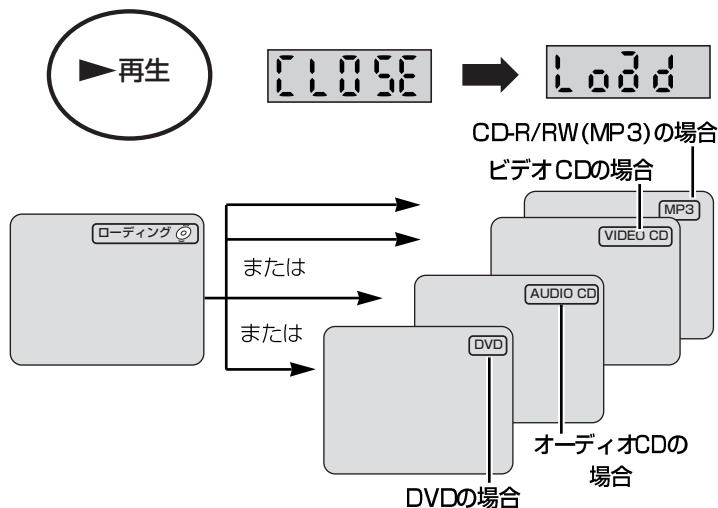
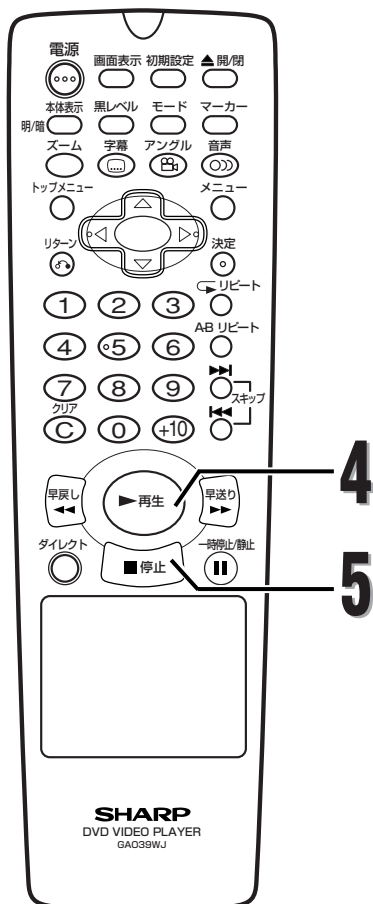
⏏ 開/閉

3

再生するディスクをトレイにのせる

● ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

■ ディスクが裏表逆になっていると、ディスクに傷をつけたり、誤動作の原因となります。
■ トレイ開閉は、電源が「入」の状態で行ってください。
■ 2層ディスクの再生中に映像が一瞬とまることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。

4 再生ボタンを押す

- 自動的にトレイが閉じて、ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。すでにトレイが閉じられているときも**再生ボタン**を押します。
- メニュー画面が記録されているDVDやビデオＣＤを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。**35, 36ページ**の項をご覧ください。

5 再生をやめるときは停止ボタンを押す

■停止

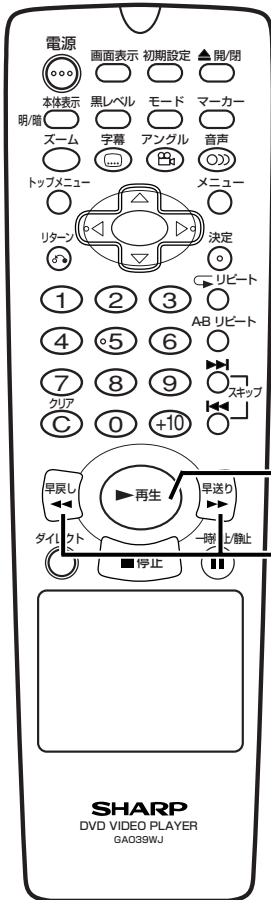
画面に下記の表示が出た場合は、63ページをご覧ください。

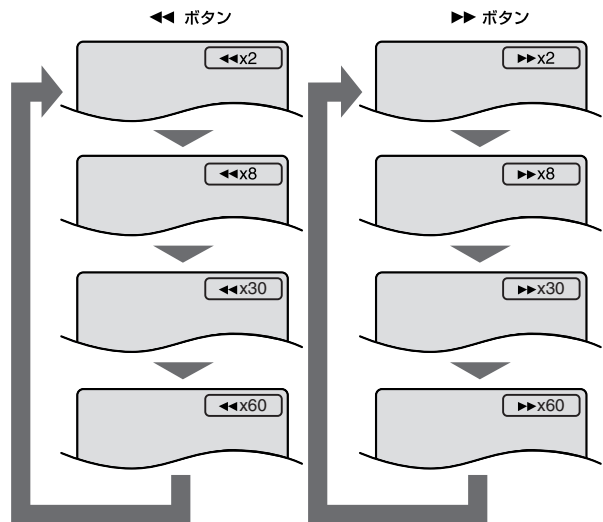
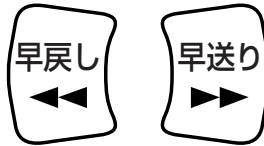
再生可能なディスクを挿入してください。	リージョンエラー： この地域での再生は禁止されています。 ディスクを取り出してください。	パレンタルエラー： 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。 ディスクを取り出してください。

ちょっと一言！

- ■ このプレーヤーの動作中にTV画面の右上隅に「禁止アイコン」が表示されることがあります。これは、禁止されている操作がDVDプレーヤーかディスクに対して行われていることを警告するためのものです。
- ■ ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源コードをいったん抜き取り、コードを差し込みなおしてから再生を再開してください。
- ■ 再生プログラム信号が備わっているようなある種のタイトルを使っているDVDの場合は、２番目のタイトルから再生が始まったり、こういったタイトルを飛ばして再生をしたりすることがあります。
- ■ メニュー画面対応DVDやPBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDはそれぞれ操作が異なります。操作方法についてはソフトに付属の説明に従ってください。[➡ 14、 35ページ]
- ■ 停止ボタンを押した後、35分以上操作しないと自動的に電源が切れます。
- ■ PBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDでPBC再生を行なわない場合は停止ボタンを押し、数字キーを押してから再生してください。

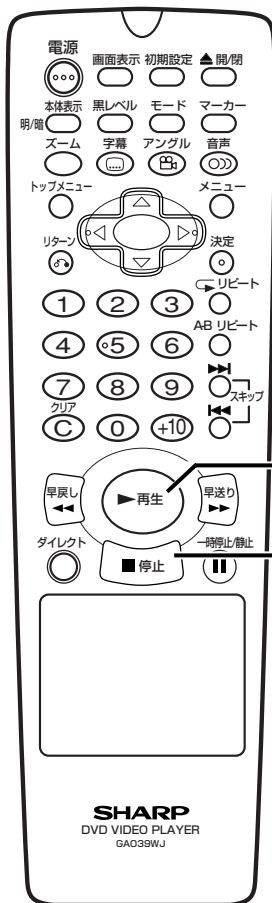
早送り／早戻しをする（サーチ）

DVD CD VCD

1 再生中に▶▶ボタンか◀◀ボタンを押す (DVDやビデオＣＤの音声は出ません。)

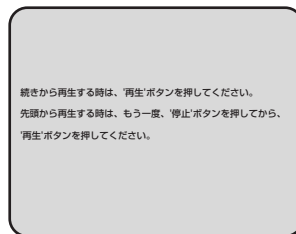
- DVDやビデオＣＤの場合は▶▶ボタンか◀◀ボタンを押すたびに、4段階に再生速度が変わります。
- ビデオCDの場合の再生速度は×2、×8、×30の3段階です。
- オーディオCDの場合の再生速度は×16のみです。

- 本体で操作するときは、▶▶（早送り）ボタンまたは◀◀（早戻し）ボタンを2秒以上押します。2秒以上押すたびに再生速度が変わります。

2 再生ボタンを押すと通常の再生速度に戻る

■ 画面に表示される早送り/早戻しの速度表示は目安です。ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
■ タイトルをまたぐサーチはできません。

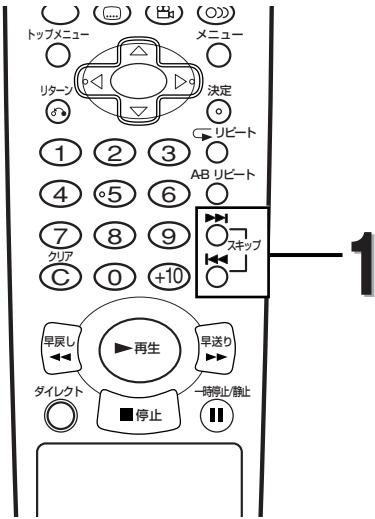
停止したところから再生する（つづき再生） DVD CD VCD

1 再生中に停止ボタンを押す

●再生が停止し、次いで画面中央に「つづき再生メッセージ」が表示されます。

続きから再生する時は、'再生'ボタンを押してください。
先頭から再生する時は、もう一度、'停止'ボタンを押してから、
'再生'ボタンを押してください。

2 再生ボタンを押す

●停止した位置から、つづけて再生されます。

■停止ボタンを2回押すか、ディスクトレイを開くと、つづき再生機能は解除されます。
■PBC（プレイバックコントロール）対応ビデオCDの場合、つづき再生はできません。再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除できます。PBCを解除すると本機の電源を切った後でもつづき再生をすることができます。

チャプターやトラックを頭出しする（スキップ） DVD CD VCD

1 再生中に ▶▶I ボタンか I◀◀ ボタンを押す

● DVDの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
● ビデオCDや音楽CDの場合は、トラックの頭出しができます。

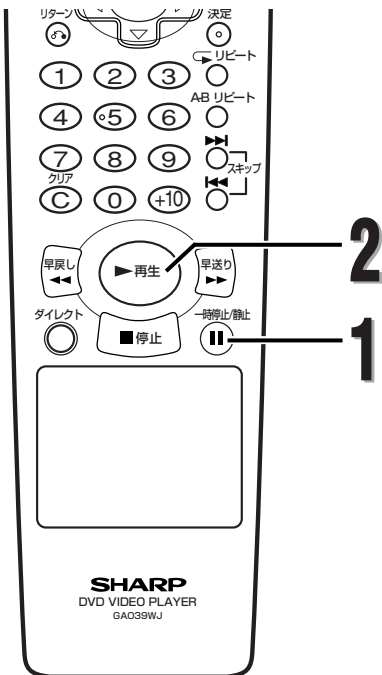
▶▶I ― 次のチャプターを頭出しします。

または

I◀◀ ― 現在のチャプターを頭出しします。さらに押すと前のチャプターに戻ります。

ちょっと一言!

■ タイトルをまたぐスキップはできません。

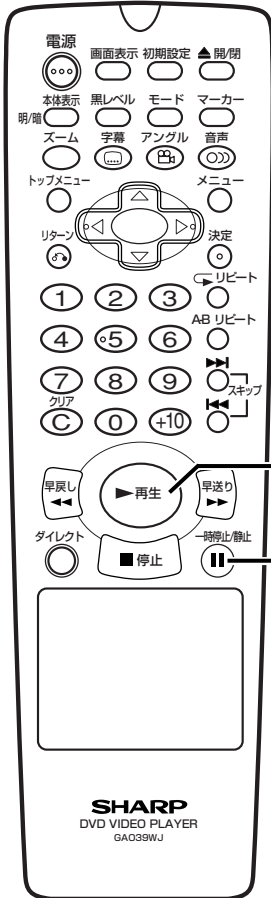
一時停止（静止） DVD CD VCD

1 再生中に一時停止ボタンを押す

● DVDやビデオCDは静止画再生となります。
● 音楽用CDは一時停止となります。

一時停止/静止

2 再生を再開するには再生ボタンを押す

コマ送り再生

DVD VCD

1

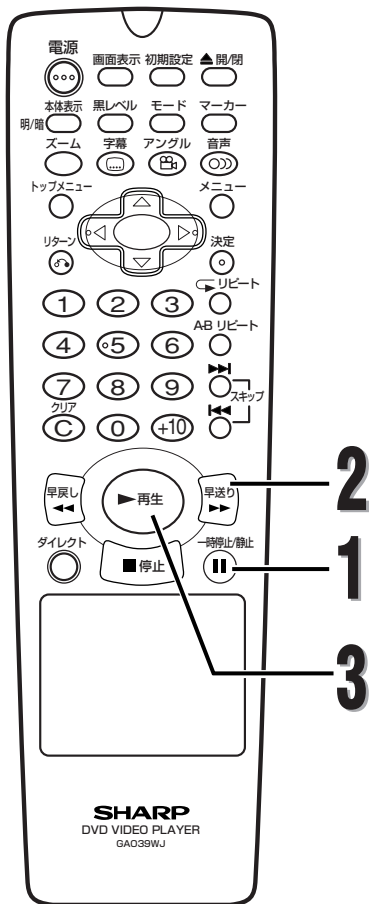
一時停止中に一時停止ボタンを押す

● このボタンを押すたびに、コマ送りされます。

2

再生ボタンを押すと再生に戻る

スロー再生

DVD VCD

1

再生中に一時停止ボタンを押す

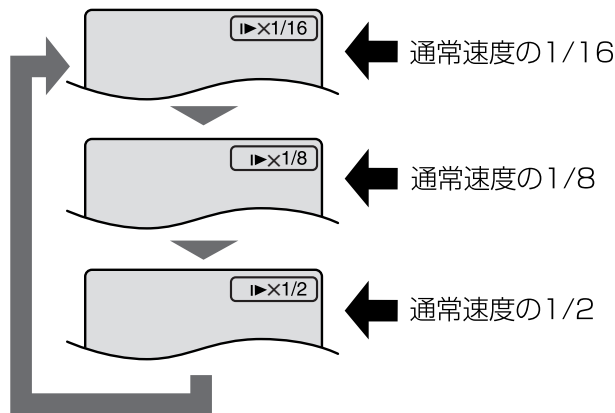
● 静止画再生となります。

一時停止/静止

2

再生を一時停止している間に▶▶ボタンを押す（音声は消音のままです。）

● スローモーションモードで再生が行われます。

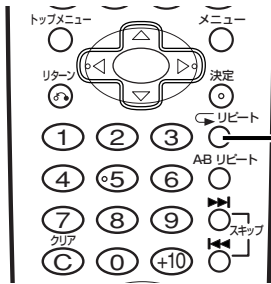
● ▶▶ ボタンを押すたびに3段階に再生速度が変わります。画面に表示されている速度を見ながらお好みの速度を選択します。

● 本体で操作するときは、▶▶（早送り）ボタンまたは◀◀（早戻し）ボタンを2秒以上押します。2秒以上押すたびに再生速度が変わります。

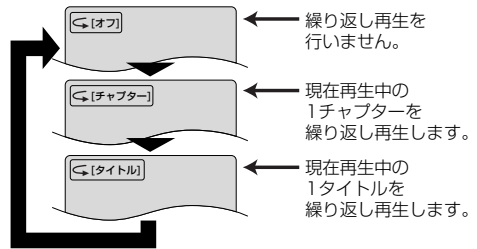
3

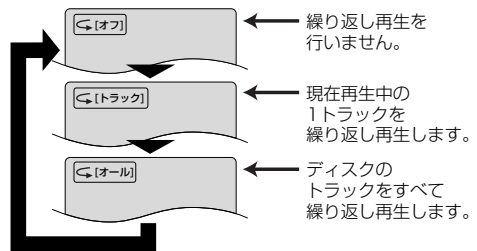
再生ボタンを押すと通常の再生速度に戻る

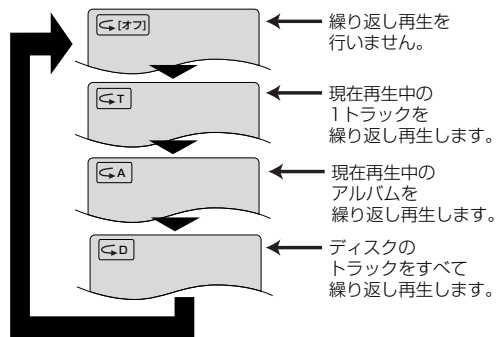
ちょっと一言!

■ オーディオCDのスロー再生はできません。
■ 逆方向のスロー再生はできません。
■ ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。

繰り返し再生（リピート再生） DVD CD VCD

DVDの場合

● １つのタイトルまたはチャプターを、繰り返し再生します。
● リピートボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

オーディオCD、ビデオCDの場合

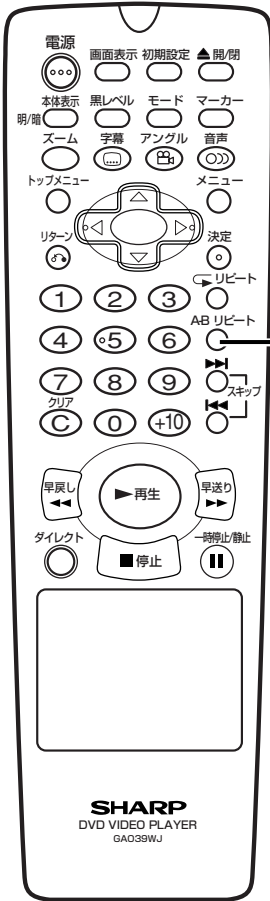
● ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
● リピートボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

MP3の場合

● アルバムまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
● リピートボタンを押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

オーディオCDやMP3ファイル形式のCD-R/RWのプログラム／ランダム再生中にリピートボタンを押し、「オール」または「D」にするとプログラム／ランダム再生が繰り返し実行されます。

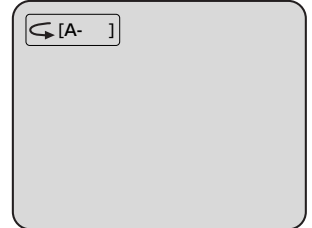
ちょっと一言！

■ ディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
■ “リピート”の設定をした以外のタイトル、チャプター、トラックに移ったときは、この設定は消去されます。
■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除し、リピート再生することができます。

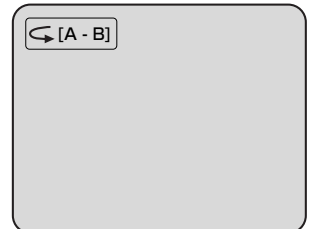
繰り返し再生（A-Bリピート再生） DVD CD VCD

お好みのシーン（A-B間）を繰り返し再生するように、設定することができます。

1 再生中に繰り返し再生したい開始点（A）でA-Bリピートボタンを押す

● 開始点（A）を選択します。

A-B リピート

2 リピート再生の最終点にしたい箇所（B）で、再度A-Bリピートボタンを押す

● 選択されたシーン（A-B間）が繰り返し再生されます。

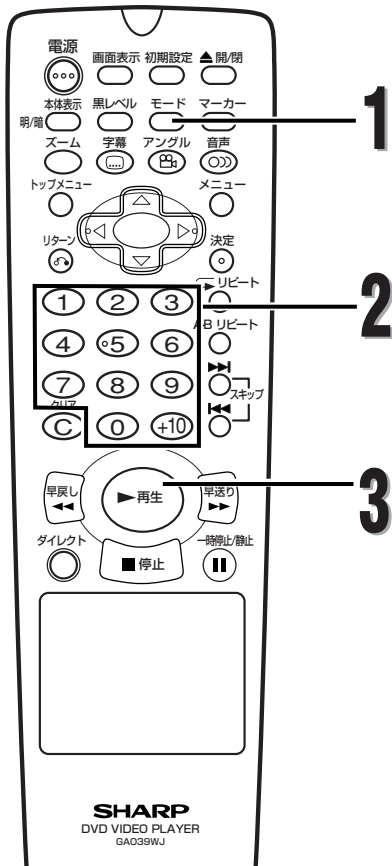
A-B リピート

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、A-Bリピートボタンを押してリピート再生をオフに切り換える

A-B リピート

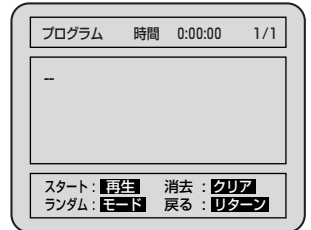
ちょっと一言！

■ DVDの場合、A-Bリピート再生は、現在のタイトル内にのみ設定することができます。
■ オーディオCDやビデオCDの場合、A-Bリピート再生は、現在のトラック内で設定することができます。
■ DVDの場面によっては、A-Bリピート再生機能を利用できない場合もあります。
■ 設定されたA開始点をキャンセルするには、クリアボタンを押します。
■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除し、A-Bリピート再生することができます。

プログラム再生

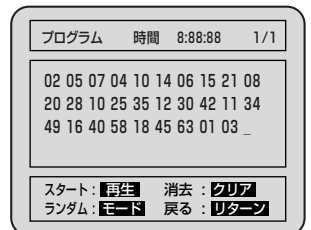
CD

1 ディスクを挿入し、停止中にモードボタンを押す

● プログラム設定画面が表示されます。

モード

2 数字ボタンを押し、希望するトラック番号を入力する

● 選択したトラックのプログラム数と合計時間が画面上側に表示されます。

● 最後に入力したプログラムを取り消すには、クリアボタンを押します。

● 2桁以上のトラック番号を入力する場合は、「+10」ボタンを押して数字を入力します。

例）トラック14：＋10→1→4

3 再生ボタンを押す

● プログラムされている順序で再生が開始します。

ちょっと一言！

■ プログラム再生中は追加のプログラムは実行できません。このような操作を行う前に現在の再生を停止してください。
■ トレイに入っているディスクのトラック番号より大きい番号は、受け付けません。
■ プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
■ プログラムの設定は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと、消去されます。
■ １度設定した曲順を入れかえることはできません。曲順を変更したい場合は、手順２でクリアボタンを使って入力しなおしてください。
■ 再生中、プログラム状況を確認するには、画面表示ボタンまたはモードボタンを押してください。
■ 設定した次のトラックを再生するときは ►►| 、前のトラックを再生するときは|◄◄ を押してください。

プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

● 停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。

再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。

● 停止ボタンを2回押した場合、プログラム再生オフとなります。

再生再開時：最初の曲からもう一度プログラム再生を始めることができます。

ランダム再生

CD

1 停止中にモードボタンを押す

● プログラム設定画面が表示されます。

モード

2 モードボタンをもう一度押す

● ランダム設定画面が表示されます。

モード

3 再生ボタンを押す

● ランダム再生が始まります。

ちょっと一言！

■ ランダム再生中は、プログラム再生はできません。
■ 再生中、ランダム状況を確認するには、画面表示ボタンを押してください。

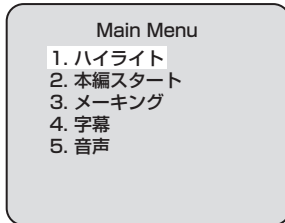
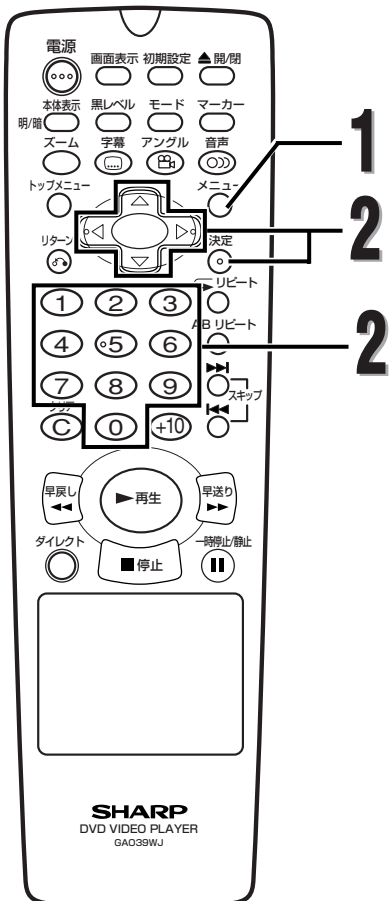
ディスクメニューを使う

DVD VCD

PBC未対応ソフト

DVDの中にはそのディスクの内容を表示するガイダンスメニューや、音声、言語などを設定するメニューなど、そのディスク独自のメニューが入っているものがあります。

(例)

Main Menu
1. ハイライト
2. 本編スタート
3. メーキング
4. 字幕
5. 音声

● 表示される内容はDVDやビデオＣＤによって異なります。ここでは一般的な操作の例を示しています。

1 メニューボタンを押す

● ビデオCDの場合は、リターンボタンを押してください。

● ディスクメニューが表示されます。

メニュー

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押してセッティングを変え、決定ボタンを押します。

● ディスクによっては、数字ボタンが有効な場合があります。

● ビデオCDの場合数字ボタンを押してください。

3 選択したタイトルから再生が始まる

タイトルメニューを使う DVD

タイトルメニューが入っているDVDの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

1 トップメニューボタンを押す

● タイトルメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

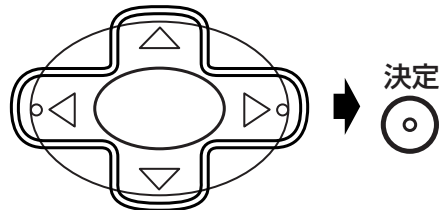
● カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押してセッティングを変え、決定ボタンを押します。

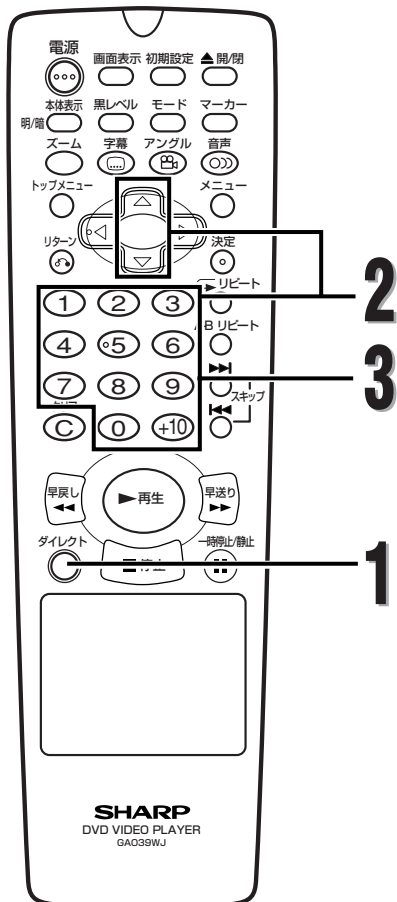
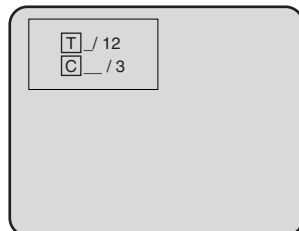
再生中にメニュー画面を呼び出す

DVDの場合

● メニューボタンを押してDVDメニューを呼び出します。
● トップメニューボタンを押してタイトルメニューを呼び出します。

ちょっと一言!

■ メニューの内容と、この内容に基づいた各メニューの役割りは、ディスクによって異なっています。詳細についてはディスクに付属の説明書を参照してください。

希望するチャプターまたはタイトルからの再生　DVD

1

再生中にダイレクトボタンを押す

2

タイトル番号を変更する場合は、▲/▼ボタンを押してカーソルを移動し、数字ボタンで希望するタイトル番号を入力する

- タイトル番号を入力すると、カーソルは自動的にチャプター番号入力に戻ります。

3

数字ボタンを押して希望するチャプター番号を入力する

- ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるときに1桁のチャプターやタイトルを選ぶときは、「0」ボタンを押してから希望の数字を押してください。

  例）チャプター： 1 → 01
- 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、その数字を押してください。

  例）チャプター： 1 → 1

スキップボタン（⏮、⏭）の使い方

再生中または再生が一時停止中に⏭ボタンを押すと、そのときに再生されていたチャプターを飛ばして次のチャプターが再生されます。⏮ボタンを一回押すと、そのときに再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に⏮ボタンをもう一回押すと一つ前のチャプターに戻ります。

ちょっと一言！

■ DVDによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。

希望するところから再生する（ダイレクト再生）

希望するタイムカウントからの再生　DVD CD VCD

1 再生中にダイレクトボタンを2回押す

ダイレクト

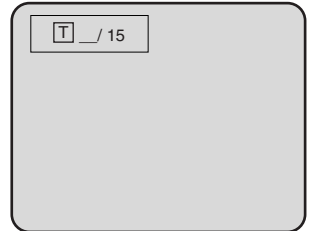
2 数字ボタンを押して希望するタイムカウントをセットする

● 例：　1時間23分30秒
1→2→3→3→0

■ DVDの場合、再生中のタイトルの中でのタイムサーチはできますが、他のタイトルへのタイムサーチはできません。
■ ビデオCDやオーディオCDの場合、トラックの中でのタイムサーチはできますが、CD全体としてのタイムサーチはできません。
■ ディスクによっては、希望するタイムカウントからの再生ができないものがあります。
■ 特定の時間だけの再生ができないディスクがあります。また、プレーヤーが停止モードのときもできません。
■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除することができます。[➡ 14ページ]

希望するトラックからの再生

CD VCD

1 再生中にダイレクトボタンを押す

2 数字ボタンを押して希望するトラック番号を入力する

● ディスクに2桁以上のトラックがあるときに1桁のトラックを選ぶときは、「0」ボタンを押してから希望の数字を押してください。

例）トラック： 1 → 01

● 1桁のトラックしかない場合は、その数字を押してください。

例）トラック： 1 → 1

スキップボタン(⏮、⏭)の使い方

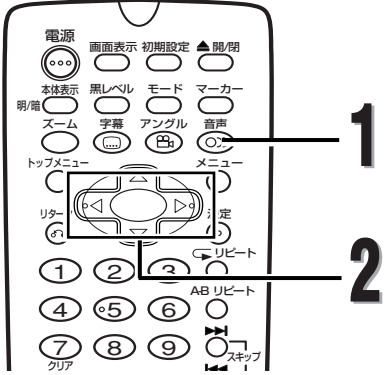
再生中または再生が一時停止中に⏭ボタンを押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばして次のトラックが再生されます。⏮ボタンを一回押すと、そのときに再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に⏮ボタンをもう一回押すと一つ前のトラックに戻ります。

■ 再生または停止中に数字ボタンを使ってトラック番号を入力しても、希望するトラックから再生を始めることができます。2桁以上のトラック番号を入力する場合は、「+10」ボタンを押して数字を入力します。　（例）トラック14 ：+10→1→4

■ PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDの場合、再生中に停止ボタンを押し、数字ボタンを押すとPBC機能を解除することができます。このとき、ダイレクトボタンを押すと手順1の画面が表れます。[➡ 14ページ]

音声(言語)をかえる

DVD CD VCD

DVDプレーヤーには、希望する音声(言語)およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。

1

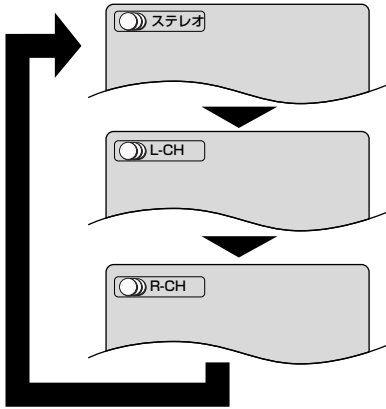
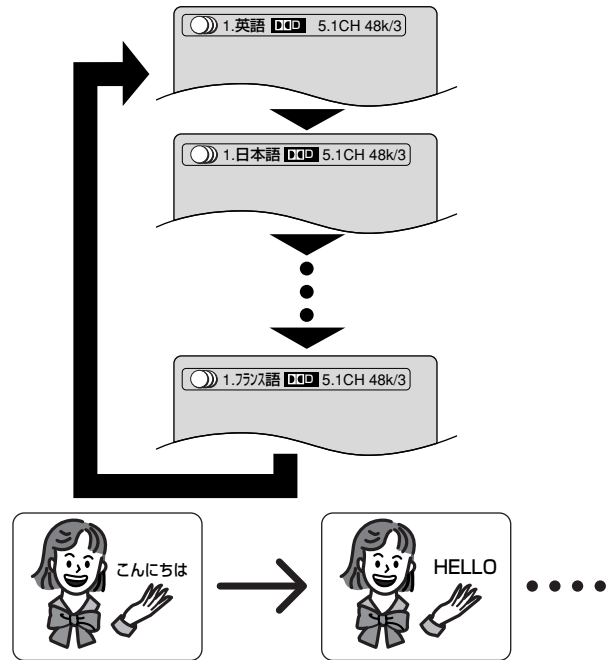
再生中に音声ボタンを押す

音声

2

さらに音声ボタンを押して希望する音声(言語)を選択する

● 音声(言語)は、そのディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。

CD、ビデオCDの場合

DVDの場合

■ DVDによっては、複数の言語が入っていても音声ボタンが作動しないことがあります（例えばディスクメニュー上で言語の設定ができるDVDがあります)。DVDにより操作が異なります。操作方法については、DVDに付属の説明書に従ってください。

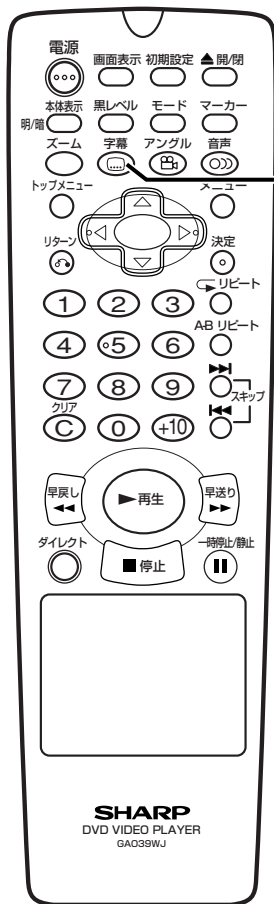
■ 音声ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないときは、その言語がDVDに含まれていません。

■ 電源投入時やDVD交換時は、「設定モード」で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは、そのDVDで決められている言語が選ばれます。

■ 約5秒後に画面表示が消えます。

字幕(言語)をかえる

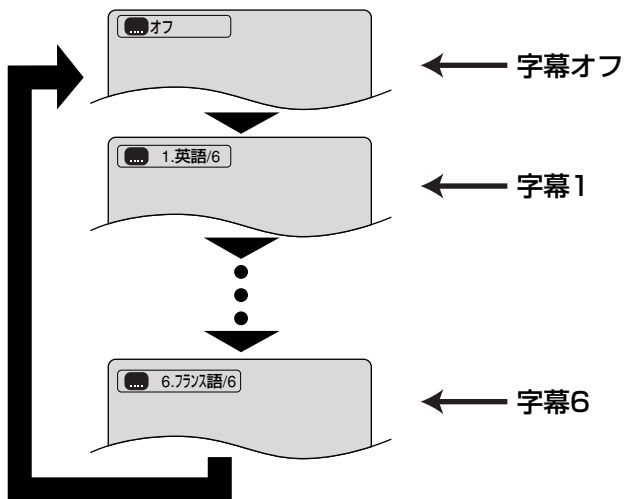
DVD

DVDプレーヤーには、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

1 再生中に字幕ボタンを押す

字幕

2 さらに字幕ボタンを押して希望する言語の字幕を選択する

● 再生中のDVDに複数の言語が含まれている場合は、字幕(言語)を切り換えることができます。

● 字幕(言語)は、使用中のDVDに1つの言語しか含まれていない場合は、切り換えることができません。

● 字幕ボタンを押すと字幕(言語)が、字幕1、字幕2---と含まれているすべての言語に切り換わります。

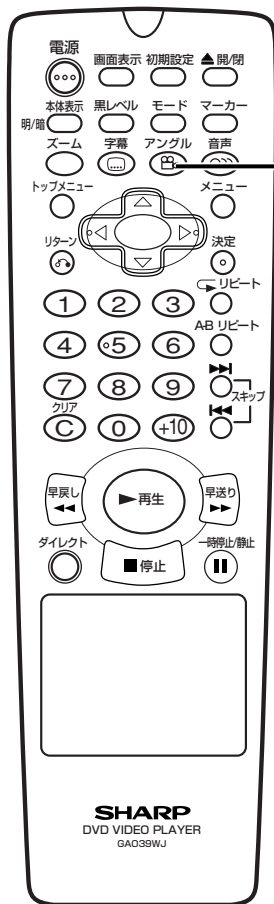
● 字幕(言語)オン/オフの切り換えは次のように行なうことができます。
1.字幕ボタンを押す。
2.カーソル(◀/▶)ボタンを押す。

ちょっと一言!

■ DVDディスクメニューで字幕(言語)の設定をするDVDがあります。(DVDにより操作が異なります。操作方法については、DVDに付属の説明書に従ってください。)
■ 字幕ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の字幕がDVDに含まれていません。
■ 電源投入時やDVD交換時は、「設定モード」で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは、そのDVDで決められている言語が選ばれます。
■ 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
■ 約5秒後に画面表示が消えます。
■ "▭ なし"が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。

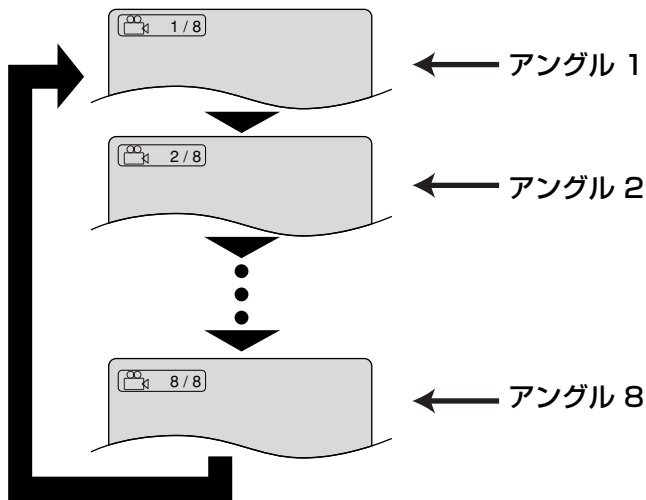
アングル（カメラアングル）をかえる

DVD

DVDプレーヤーには希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

1 再生中にアングルボタンを押す

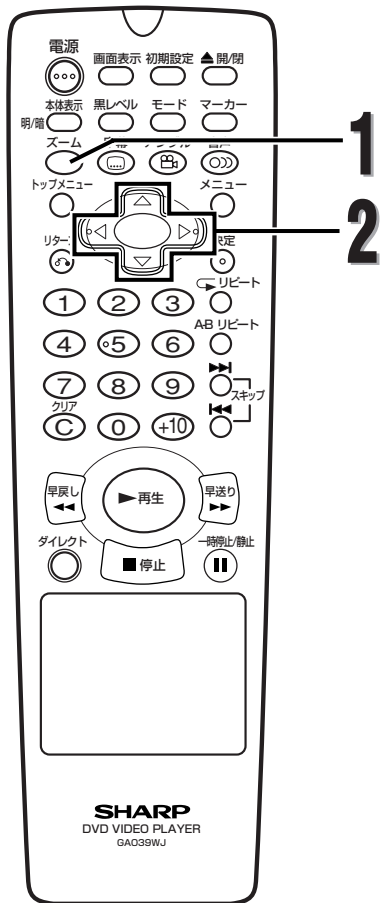
- 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上にアングルアイコン（ ）が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 異なるカメラアングルから記録された画像がDVD上にない場合には、カメラアングルを変更できません。この場合、画面には「禁止アイコン」があらわれます。

アングル

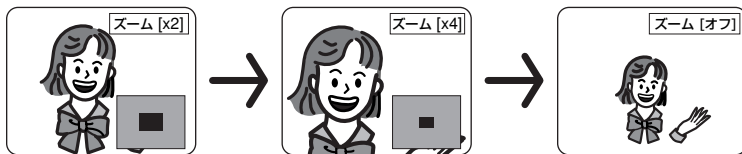
2 アングル番号が画面上に表示されている間にアングルボタンを押す

ちょっと一言！

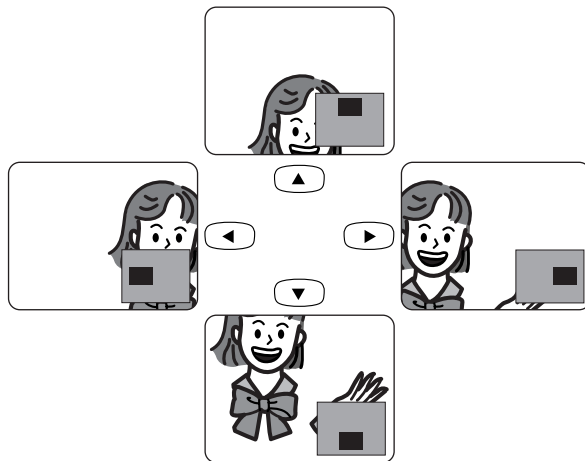
■ 約5秒後に画面表示が消えます。
■ アングルアイコンの設定をオフにしている場合は「禁止アイコン」はあらわれません。
[55～57ページ]

ズーム再生 （画面上で拡大） DVD VCD

画像は、お好みにより画面上で×2または×4の大きさに拡大できます。

1 再生中にズームボタンを押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- ズームボタンをくり返し押すと、2段階の切り換えができます。

ズーム

2 ズーム再生中にカーソル（▲/▼/◀/▶）ボタンを押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から移動させることができます。---上下左右に×2のときは4段階、×4のときは6段階で移動できます。
- 現在拡大されている箇所を画面下で確認できます。

ちょっと一言!

■ ズーム機能は、操作表示画面が表示されている間は作動しません。

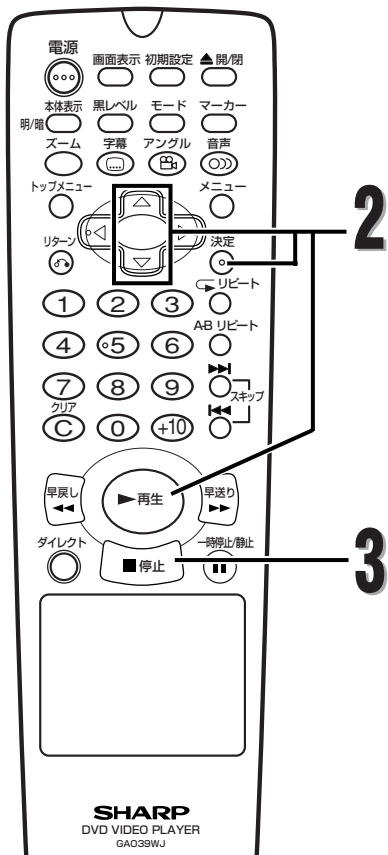
MP3ディスクの再生

MP3

ちょっと一言!

■ サンプリング周波数が44.1kHzまたは48.1kHzの固定ビットレート128kbps以上で記録されたものに対応しています。それ以外で記録されたファイルは禁止マークが表示され、再生することができません。
■ アルバムの名前は14文字、トラックは24文字まで表示できます。アルファベットの大文字、数字、アンダーライン'_'、アスタリスク'*'、スペースは表示しないことがあります。漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。また、認識できない文字はアスタリスク'*'で表示されます。
■ MP3の音声は、デジタル接続したとき、デジタル機器での録音が禁止されます。

1 MP3トラックが記録されたディスクを挿入する

● MP3メニュー画面が表示されます。
● アルバム名の先頭には "+" が表示されます。
● 画面内に全て表示されない場合は、次のページを示す "▼" が表示されます。前のページがある場合には "▲" が表示されます。"▼" の左側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
● アルバムとトラック合わせて255まで認識できます。

2 ▲/▼ボタンで再生したいアルバム、またはトラックを選択し、再生ボタンまたは決定ボタンを押す

トラックを選択した場合
選択したトラックから順に再生が始まります。

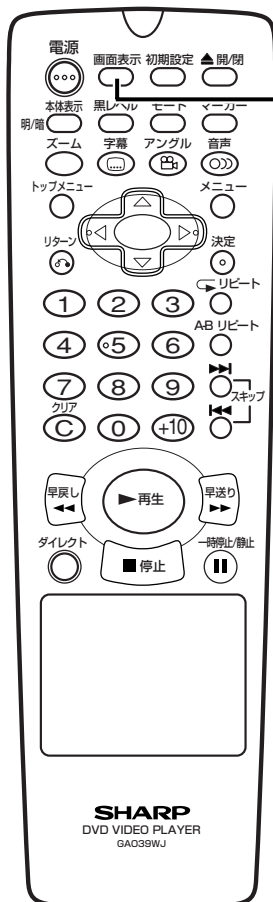
アルバムを選択した場合
トラック選択画面が表示されます。▲/▼ボタンで再生したいトラックを選択し、再生ボタンを押します。再生が始まります。

● "先頭から再生"を選び、再生ボタンまたはリターンボタンを押すと、ディスクの頭から、アルバム·トラックの順に再生します。
● 階層の移動は ◀/▶ で行います。
● トップメニューボタンを押すと、1番上の階層に戻ります。
● 9階層以降の階層は再生できません。

3 再生を停止するときは停止ボタンを押す

MP3ディスク再生時の画面表示切り換え

MP3

MP3ディスク再生中に、ディスクについての情報を確認する事ができます。

1 再生中に画面表示ボタンを押す

● 現在再生しているトラックがハイライトされています。

アルバム名
+ALBUM01
TRACK11
TRACK12
TRACK13
TRACK14

2 もう1度画面表示ボタンを押す

● アルバム名を表示している所がトラックの経過時間に切りかわります。

● リピート再生を設定しているときには、⤷が表示されます。

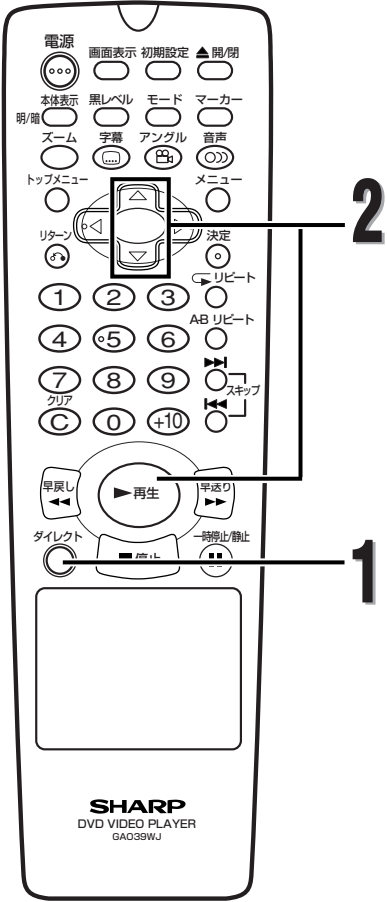
⤷ A：アルバムリピート
⤷ T：トラックリピート
⤷ D：ディスクリピート

3 さらに画面表示ボタンを押すと映像画面は消去する

ちょっと一言！

■ 再生中に停止ボタンを押すと、MP3メニューが表示されます。
■ MP3メニューの最初の画面を表示するときは、停止中にトップメニューボタンを押します。

MP3ディスクを希望するトラックから再生する

MP3

1 ダイレクトボタンを押す

● サーチメニュー画面が表示されます。

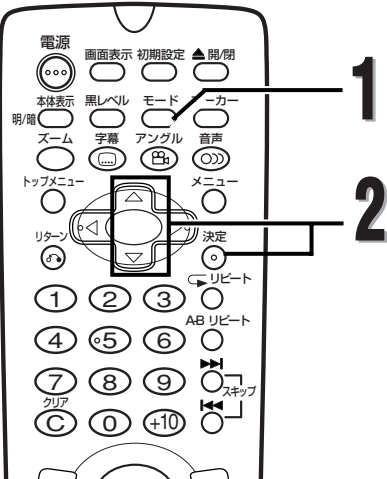
2 ▲/▼ボタンで再生したいトラックを選択し、再生ボタンを押すと再生が始まる

● リターン、画面表示、ダイレクトボタンを押すと、メニュー画面は消去します。

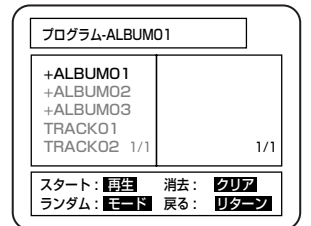
ちょっと一言！

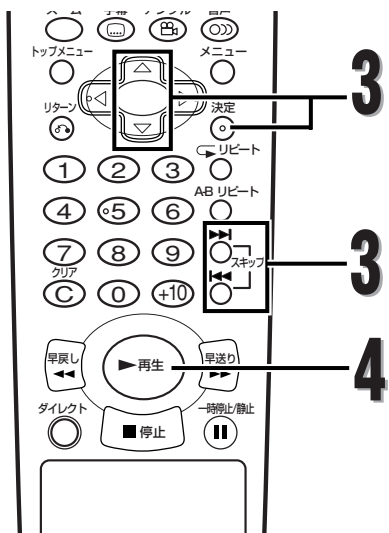
■ 画面表示を消した状態で再生しているときに数字ボタンでトラック番号を入力すると、トラックのダイレクト再生を始める事ができます。
■ サーチメニュー画面表示中はダイレクト再生できません。
■ トラックNo.にない数字を入力してしまうと禁止マークが表示され、ダイレクト再生モードは解除されます。
■ 希望するタイムカウントからの再生はできません。

MP3ディスクをプログラム順に再生する

MP3

1 停止中にモードボタンを押す

● プログラム画面が表示されます。

モード

2 ▲/▼ボタンでアルバムを選択し決定ボタンを押す

● トラック選択画面になります。

3 ▲/▼ボタンでトラックを選択し、決定ボタンを押すとプログラムが入力される

- プログラム入力されたトラックは右画面に表示されます。
  右画面に表示できるトラック数は5トラックです。5トラック以上入力した場合は、次のページを示す▼が表示されます。
  ▶▶|ボタンを押すと次ページに進みます。|◀◀ボタンを押すと前のページに戻ります。
- ◀ボタンを押すとアルバム選択画面に戻ります。

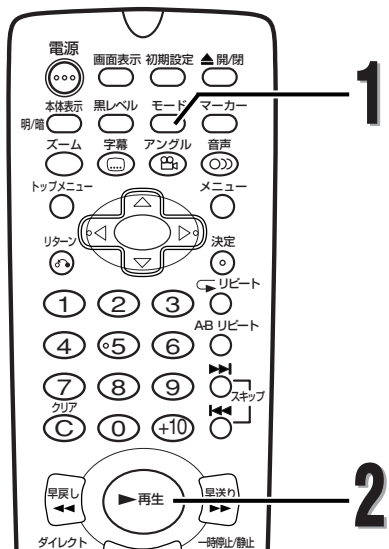
4 プログラム入力が完了すれば再生ボタンを押す

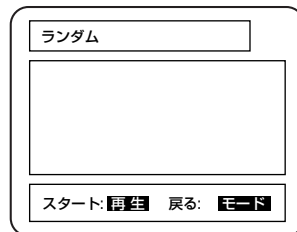
- プログラム再生が始まります。

ちょっと一言!

- ■ クリアーボタンを押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
- ■ リターンボタンを押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。
- ■ プログラム再生をやめるときは停止ボタンを2回押します。モードボタンを押すと、設定していたプログラム再生を始めることができます。
- ■ 電源を切ったりディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。
- ■ 最大プログラム数は99トラックまでです。

MP3ディスクをランダム再生する

MP3

1 停止中にモードボタンを2回押す

モード

2 再生ボタンを押す

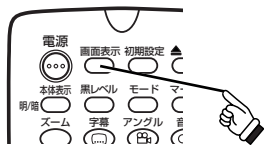
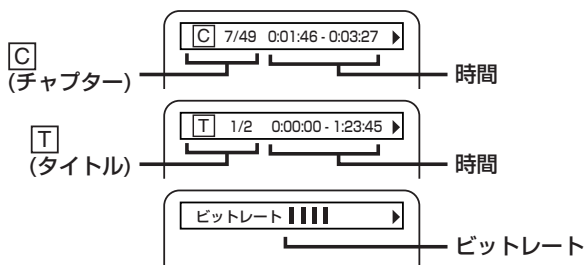
- ランダム再生が始まります。

再生中の情報を見る（画面表示）

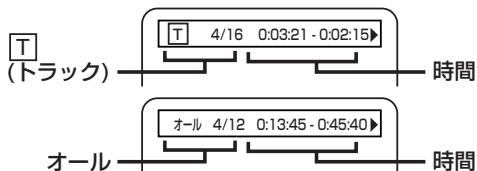
画面表示の切りかえ

リモコンの画面表示ボタンを押してディスクについての情報を確認したり、サーチや再生中の設定を変えることができます。

再生情報の表示 DVD CD VCD

1 再生中に画面表示ボタンを押す
● 画面上に情報が表示されます。
● 画面表示ボタンをくり返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDの場合

項目	表示内容
C	現チャプター番号/総チャプター数
T	現タイトル番号/総タイトル数
時間	現チャプター（タイトル）時間/残現チャプター（タイトル）時間
ビットレート	画像の情報量

画面表示ボタンを4回押す、またはリターンボタンを押すと画面表示が消えます。

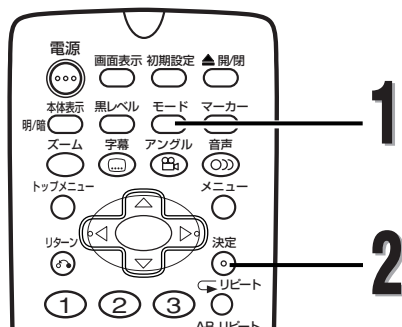
オーディオCD/ビデオCDの場合

項目	表示内容
T	現トラック総時間
オール	現トラック番号/総トラック数
時間表示	現トラック（オール）時間/総ディスク時間

画面表示ボタンを3回押す、またはリターンボタンを押すと画面表示が消えます。

TruSurround設定 DVD

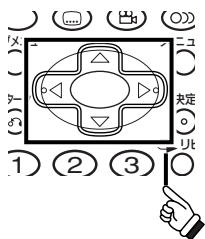
1 DVD再生中にモードボタンを押します。

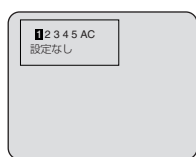
SRS TruSurround オン

2 決定ボタンでオン/オフの切り換えをします。

このDVDプレーヤーは、TruSurroundによって、バーチャル(疑似)サラウンド効果を楽しむことができます。設定方法は、上記の手順でTruSurround設定を[オン]にします。

● TruSurroundは、デジタル音声出力端子に接続した場合は働きません。
● TruSurroundは、ドルビーデジタル5.1ch対応のDVDを再生したときのみ働きます。
● DVDによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

マーカー設定　DVD　CD

マーカー機能を使って、指定した箇所をすばやく頭出しすることができます。マーカーは5個まで設定することができます。

マーカーの設定をするには

1. 再生中にマーカーボタンを押します。
2. ◀/▶ボタンで設定されていないマーカー（設定なし）を選びます。
3. マーカーをつけたい箇所で決定ボタンを押します。マーカーをつけた箇所の時間が表示されます。
4. マーカーボタンまたはリターンボタンを押すと再生中画面に戻ります。

[再生設定ウインドウ]

マーカーを設定した箇所から再生を行う場合は

1. 再生設定ウインドウ内のマーカーを◀/▶ボタンで選び、決定ボタンを押します。
2. ◀/▶ボタンで頭出ししたい箇所（マーカー）を選び、決定ボタンを押します。選択された箇所から再生が始まります。
3. サーチモードボタンまたはリターンボタンを押すと再生中画面に戻ります。

マーカー設定を削除する場合は

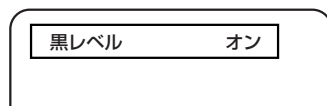
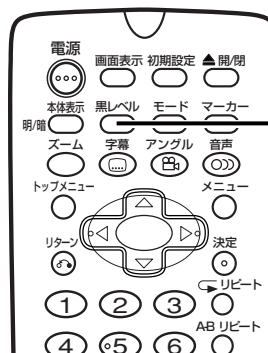
1. ◀/▶ボタンで削除したいマーカーを選び、クリアボタンを押します。
   すべてのマーカー設定を削除する場合は、◀/▶ボタンでACを選び、決定ボタンを押します。
2. サーチモードボタンまたはリターンボタンを押すと再生中画面に戻ります。

ちょっと一言!

■ 設定したマーカーは電源をオフにするか、トレイを開けると削除されます。

黒レベル設定　DVD

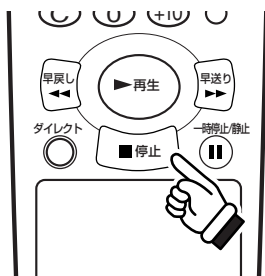
画面で暗いところを明るくします。

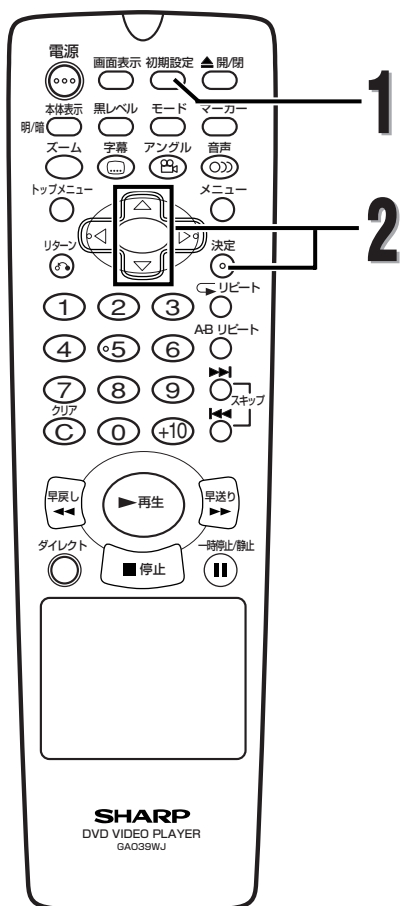
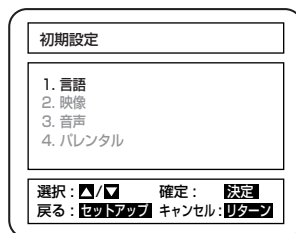
1 DVD再生中に黒レベルボタンを押します。

2 黒レベルボタンでオン/オフの切り換えをします。

便利にお使いいただくために設定しておける内容と、工場出荷時の設定を一覧表にしています。

● ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。
詳しくは各ページをご参照ください。

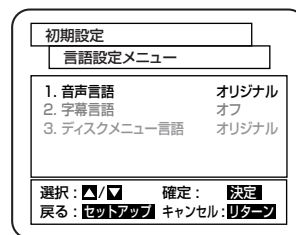
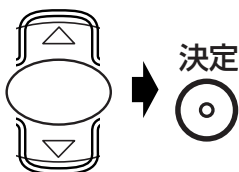
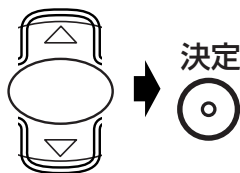
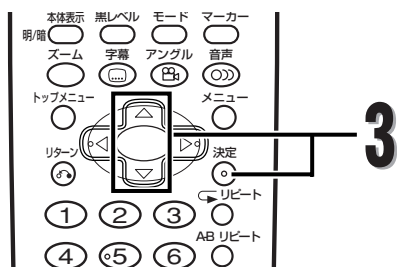
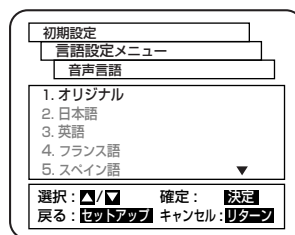
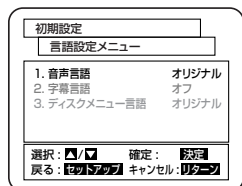
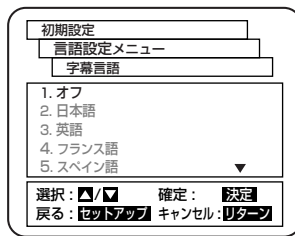
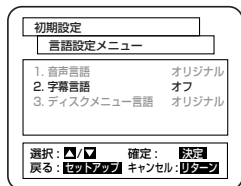
メニュー項目	設定項目(□は工場出荷設定)		設定内容
1. 言語設定 ➡51～54ページ DVD	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
2. 映像設定 ➡55～57ページ DVD	TV画面モード	4:3パンスキャン 4:3レターボックス 16:9ワイド	接続するテレビのタイプに合わせて設定
	表示パネル	明るい 暗い オート	本体表示パネルの照度設定
	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン（ ）の画面表示有無の設定
	オートパワーオフ	オン オフ	静止または停止状態で35分間入力がない場合、電源「切」にするか設定
3. 音声設定 (デジタル出力) ➡58～60ページ DVD	DRC	オフ オン	音量範囲をコントロールするか設定
	ドルビーデジタル	ビットストリーム DPCM	デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定
	DTS	オフ オン	
	ダウンサンプリング	オート 48kHz 96kHz	96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換するか設定
4. パレンタル設定 (視聴制限) ➡61～62ページ DVD	パレンタルレベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更

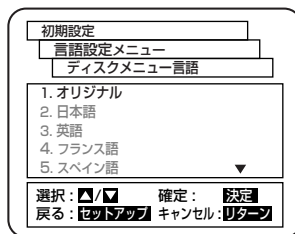
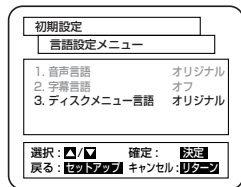
■ 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
■ 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
■ メニュー画面付きDVDを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
[➡ 14、35ページ]

言語設定

再生モードになっている場合には
停止ボタンを押します。

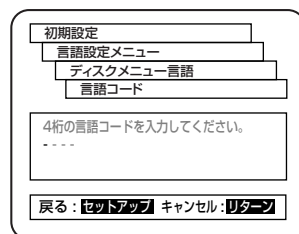
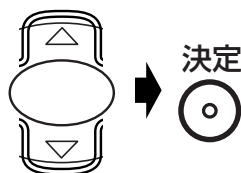
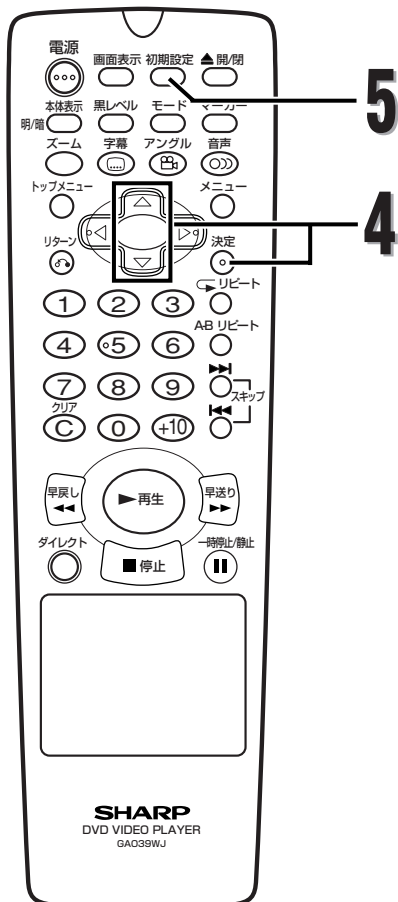
1 停止中に初期設定ボタンを押す

● 初期設定画面が表示されます。

初期設定

2 ▲/▼ボタン押して言語設定メニューを選択し、決定ボタンを押す

● 初期設定画面が表示されます。

3 ▲/▼ボタンを押して選択したい項目を選び、決定ボタンを押す

音声言語（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。

字幕言語（初期設定：オフ）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。

ディスクメニュー言語（初期設定：オリジナル）
ディスクメニューの表示言語を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナルディスクメニューとなります。

4

▲/▼ボタンを押して選択したい項目を選び、決定ボタンを押す

● 音声、字幕、またはディスクメニュー設定画面上で“その他”を選択した場合、言語コード設定画面が表示されます。54ページのリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

5

初期設定ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

■ 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、音声ボタンと字幕ボタンを使います。40，41ページに詳しい説明があります。

言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語	5047
ドイツ語	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語	5158
英語	5160
エスペラント語	5161
スペイン語	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語	5264
フリジア語	5271
アイルランド語	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語	5467
アルメニア語	5471

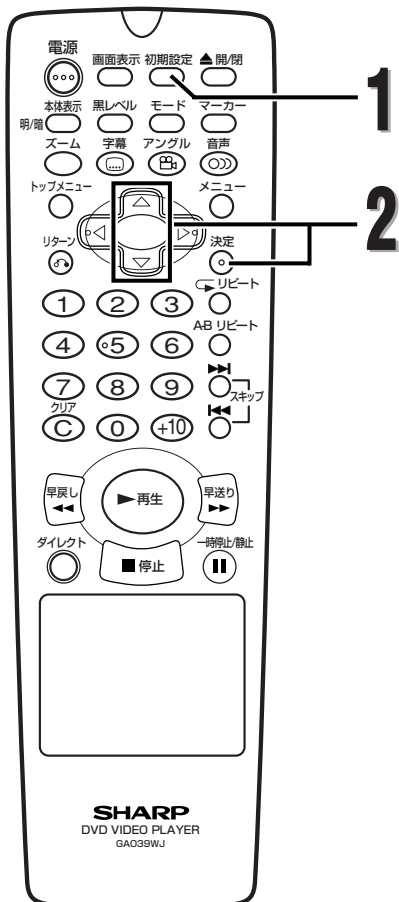
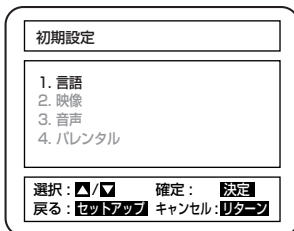
言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語	5565
イタリア語	5566
ヘブライ語	5569
日本語	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語	6058
ノルウェー語	6061
プロバンス語	6149
アファン語（オロモ語）	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語	6461
ロシア語	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語	7254
ズールー語	7267

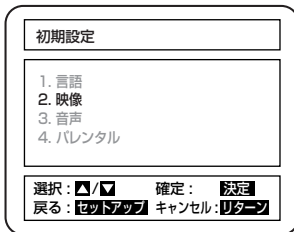
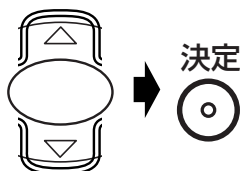
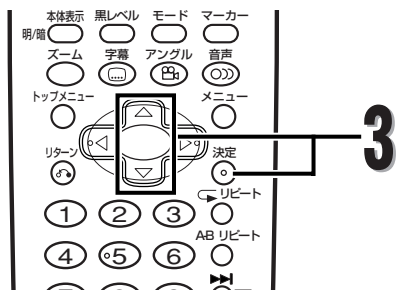
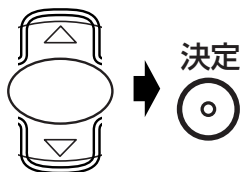
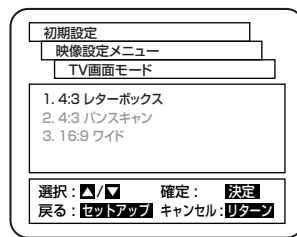
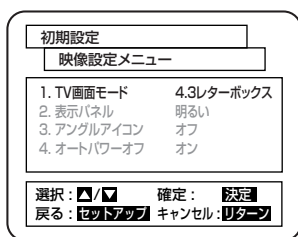
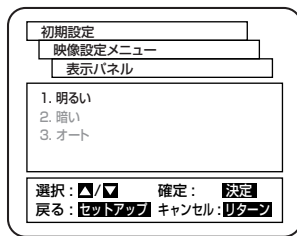
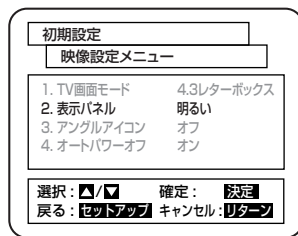
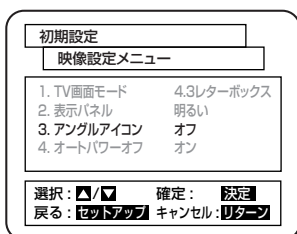
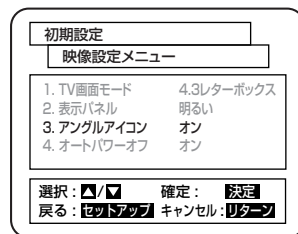
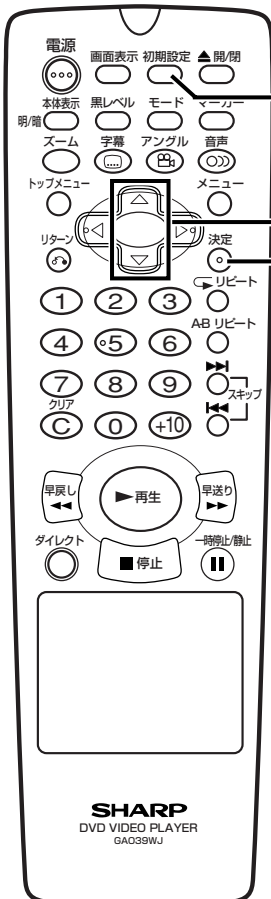
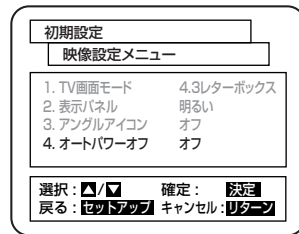
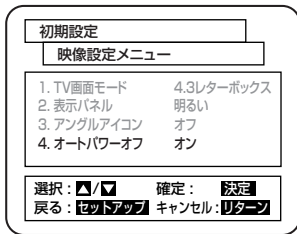
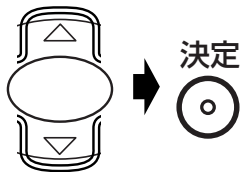
映像設定

1

停止中に初期設定ボタンを押す

● 初期設定画面が表示されます。

初期設定

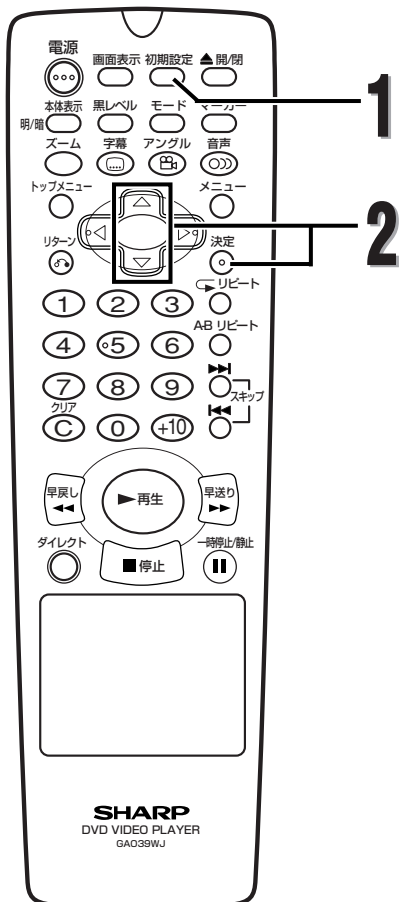
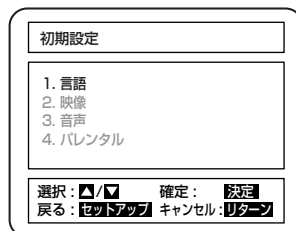
2

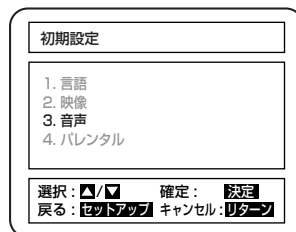
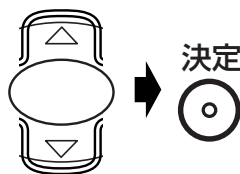
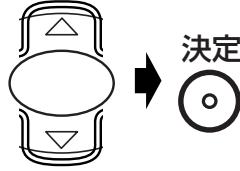
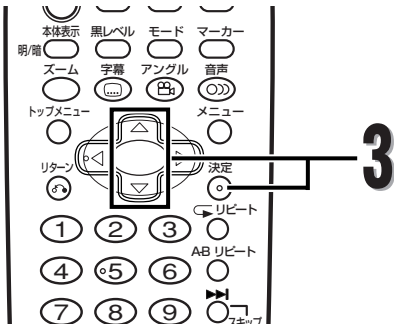
▲/▼ボタンを押して映像設定メニューを選び、決定ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押す

ＴＶ画面モード（初期設定：4:3 レターボックス）
4:3 パンスキャン：全高画像両サイドトリミング
4:3 レターボックス：上下に黒いバーつきのワイド画面
16:9ワイド：ワイド画面テレビに接続されている場合

表示パネル（初期設定：明るい）
本機表示パネルの表示輝度を調整します。
＊オート：再生中のみ暗転します。

アングルアイコン（初期設定：オン）
画面上にアングルアイコンを表示／非表示します。

オートパワーオフ（初期設定：オン）
静止または停止状態で35分間入力がない時、電源が自動的に切れるようにするには、オンを選びます。

4 ▲/▼ボタンを押して選択したい項目を選び、決定ボタンを押す

5 初期設定ボタンを押す

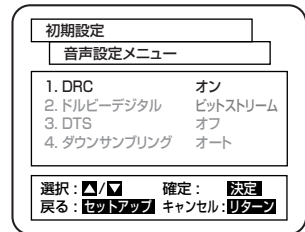
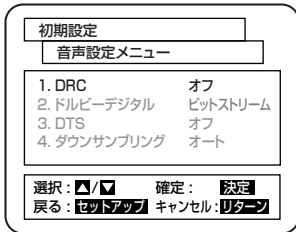
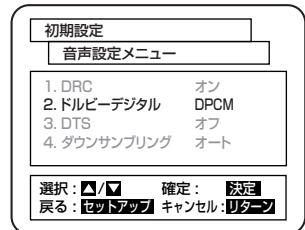
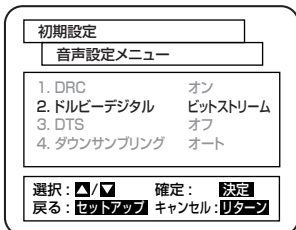
● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

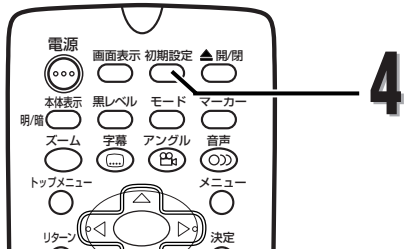
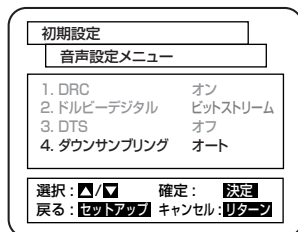
音声設定

1 停止中に初期設定ボタンを押す

● 初期設定画面が表示されます。

初期設定

2 ▲/▼ボタン押して音声設定メニューを選び、決定ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押す

DRC（初期設定：オフ）
オン：ダイナミックレンジが利用できます。

- この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより夜間の出力を抑制するだけでなく低音部の音量を上げることもできます。
- ただし、この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

ドルビーデジタル（初期設定：ビットストリーム）
ビットストリーム：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
DPCM：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、音声はPCM出力となります。

DTS（初期設定：オフ）
オン：DTSデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
オフ：DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。

ダウンサンプリング（初期設定：オート）
96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する/しないを設定します。ただし、96kHzの高音質で楽しむためにはサンプリング周波数96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。

4 初期設定ボタンを押す

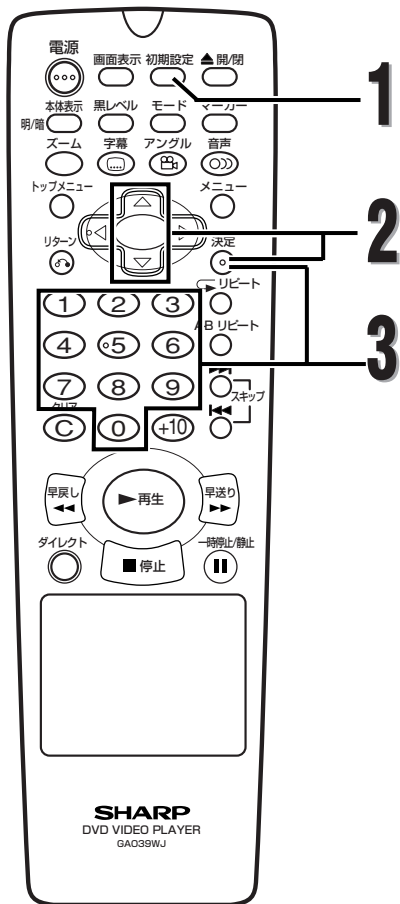
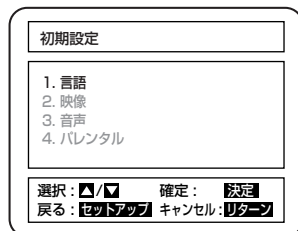
● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

■ メニュー画面付きDVDディスクを再生したときは、ディスクメニューでも設定が必要となることがあります。

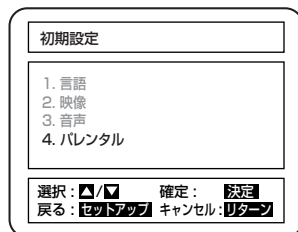
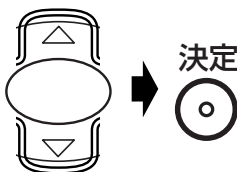
パレンタル設定（視聴制限）

1

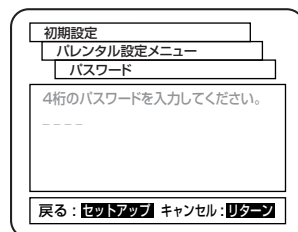
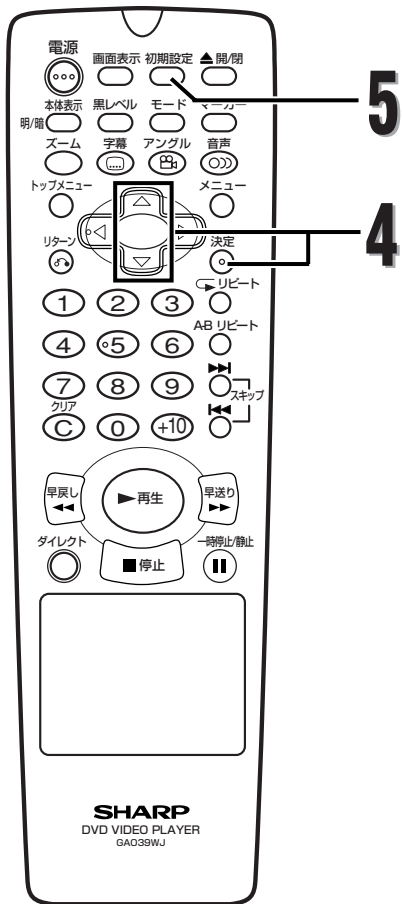
停止中に初期設定ボタンを押す

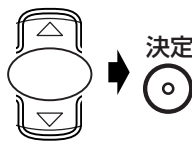
● 初期設定画面が表示されます。

初期設定

2

▲/▼ボタン押してパレンタルを選び、決定ボタンを押す

決定

3

数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力し、決定ボタンを押す

- 最初にこの設定をするときは、任意の4桁の数字を入力します。この数字は次回からパスワードとして使用されます。
- パスワードを入力して、パレンタルレベルとパスワード設定を変更することができます。
- パスワード変更を選択した場合、数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、決定ボタンを押します。
- 「4」「7」「3」「7」をパスワードにすることはできません。

4

▲/▼ボタン押して項目を選び、決定ボタンを押す

パレンタルレベルを選択した場合

● ▲/▼ボタンを押して8から1までの項目を選び、決定ボタンを押します。

(オール)

パレンタルロックをオフ状態にします。

(レベル８)

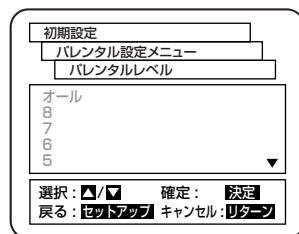
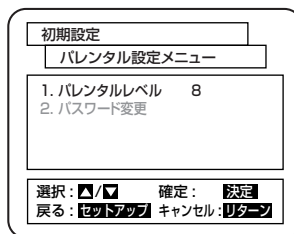
どのグレードのDVDソフトウェア（成人、一般、子供）でも再生できます。

(レベル7から2)

一般用と子供向けのDVDソフトウエアのみ再生できます。

(レベル1)

子供用のDVDソフトウエアのみ再生できます。

5

初期設定ボタンを押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言！

■ DVDによっては、パレンタルロックが作動するか見分けるのが難しい場合があります。設定した方法で、パレンタルロック機能が作動するか確認してください。
■ パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。

パスワードを忘れたとき

61ページ手順3で以下の操作をおこなって下さい。
※電源が「入」の状態で、ディスクが入っていないとき、リモコンの[4]、[7]、[3]、[7]の順にボタンを押します。すでに入力されていたパスワードがリセットされます。

故障かな？と思ったときは

ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。点検されても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない	※電源プラグがはずれている	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む	―――
リモコンで操作できない	※リモコンがこのプレーヤーの受光部に向いていない ※リモコンとこのプレーヤーが離れすぎている ※リモコンとこのプレーヤーの受光部の間に障害物がある ※リモコンの電池が消耗している	●リモコンをこのプレーヤーの受光部に向ける ●7m以内の所で操作する ●障害物を取り除く ●電池を交換する	18 18 ――― 18
画像が出ない	※映像接続コードがはずれている ※違う種類のディスクが入っている ※コピーガード機能が働いている	●映像接続コードをしっかり接続する ●このプレーヤーで使用できる映像の出るディスクを入れる ●このプレーヤーとテレビを直接接続する	20 13 20
再生が始まらない	※結露が発生している ※ディスクが入っていない ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクが汚れている ※パレンタル設定(視聴制限)が有効になっている	●電源「入」のまま、しばらく放置する ●ディスクを入れる ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す ●ディスクを清掃する ●パレンタル設定を解除するか、規制レベルを変更する	10 24 24 10 61～62
音声が出ない	※音声接続コードがはずれている ※音声出力の選択が正しくない ※音声接続をしている機器の電源が入っていない ※音声接続をしている機器の入力切り換えが正しくない	●音声接続コードをしっかり接続する ●音声出力の選択を正しく行なう ●音声接続をしている機器の電源を入れる ●音声接続をしている機器の入力切り換えを正しく行なう	20～23 58～60 ――― ―――
映像が乱れる	※コピーガード機能が働いている ※早送り、早戻しをした直後である ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している	●このプレーヤーとテレビを直接接続する ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません ●このプレーヤーから離して使用する	20 ――― 11
セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDディスクにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	40～41
アングルを変えて見ることができない	※DVDディスクに複数のアングルが記録されていない	●DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する	42
音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	40～41
テレビ画面に“🚫”が表示され、操作できない	※このプレーヤーまたはディスクがその操作を禁止しています	●故障ではありません	25
再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDディスクの仕様を満たしていない ※ディスクが汚れている ※ディスクにキズがある ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった	●**停止ボタン**を押してから、**再生ボタン**を押してみる ●ディスクを清掃する ●キズのないディスクと取り替えて再生する ●映像が一瞬とまることがありますが、故障ではありません。	――― 10 ――― 24
勝手に電源が切れる	※停止状態で35分経過すると、自動的に電源「切」状態になります	●再度、電源を入れ直す	25
"再生可能なディスクを挿入してください。"と画面表示される	※再生できないディスクが入っている ※ディスクが汚れている ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクが入っていない ※ディスクにキズがある	●再生できるディスクを入れる ●ディスクを清掃する ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す ●再生できるディスクを入れる ●キズのないディスクと取り替えて再生する	13 10 24 13 10
"リージョンエラー:この地域での再生は禁止されています。ディスクを取り出してください。"と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる	13
"パレンタルエラー:現在のパレンタル設定では再生が制限されています。ディスクを取り出してください。"と画面表示される。	※パレンタル設定が有効になっている	●パレンタル設定を変更する	61～62

ちょっと一言！

■ 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
■ ディスクにより音量が異なる事がありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。

仕　　様

<table>
<tr><td colspan="2">形　式</td><td>DVDビデオ、オーディオCD、ビデオCD</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用ディスク</td><td>DVDビデオディスク
オーディオCDディスク
ビデオCDディスク</td></tr>
<tr><td colspan="2">出力信号方式</td><td>NTSCカラー方式</td></tr>
<tr><td colspan="2">周波数特性</td><td>DVD（リニア音声）
20Hz～22kHz（48kHzサンプリング周波数）
20Hz～44kHz（96kHzサンプリング周波数）
オーディオCD・ビデオCD
20Hz～20kHz (JEITA)</td></tr>
<tr><td colspan="2">信号対雑音比（S／N比）</td><td>CD・ビデオCD：110dB (JEITA)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダイナミックレンジ</td><td>DVD(リニア音声): 95dB、CD ·ビデオCD：94dB (EIAJ)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">端　子</td><td>S映像出力</td><td>ミニDIN 4pinX1 (75Ω)
(C) 0.286 V(p-p) (75Ω)</td></tr>
<tr><td>映像出力</td><td>ピンジャックX1　1V(p-p) (75Ω)</td></tr>
<tr><td>コンポーネント映像出力</td><td>D1、 Y/CB/CR出力端子</td></tr>
<tr><td>光デジタル音声出力</td><td>光コネクタX1</td></tr>
<tr><td>同軸デジタル音声出力</td><td>ピンジャックX1　0.5V(p-p) (75Ω)</td></tr>
<tr><td>アナログ音声出力</td><td>ピンジャックX2（左チャンネルX1、右チャンネルX1）
2V(rms) (47kΩ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">電　源</td><td>AC100V/50Hz,60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>約11.0W（待機時: 約2.0W）</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用環境温度</td><td>5℃～40℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">寸　法</td><td>435mm（幅）x 75mm（高さ）x 211mm（奥行）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質　量</td><td>約2.1kg</td></tr>
</table>

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

保証書 (別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取ってください。
- 保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  お買いあげの日から1年間です。
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、DVDビデオプレーヤーの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しております。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(裏表紙) にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(63ページ) を調べてください。それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご連絡していただきたい内容

品名	：DVDビデオプレーヤー
形名	：DV-SF50
お買いあげ日	：(年月日)
故障の状況	：(できるだけ具体的に)
ご住所	：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	：
電話番号	：
ご訪問希望日	：

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　月　日	電話（　　）　—

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のDVDビデオプレーヤーの点検を！
こんな症状はありませんか？
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さま相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ

● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）　携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○携帯電話／PHSでのご利用は …………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○FAXを送信される場合は …………………	F　A　X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京サービスセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒442-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪サービスセンター	06-6794-3983	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6972 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（01.12）

あ行

か行

さ行

た行

は行

ら行

英数字

お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

■この製品についてのご意見・ご質問
「お客様相談センター」へお申し付けください。

東日本相談室

☎ **(043)297-4649**
FAX(043)299-8280
〒261-8520　千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室

☎ **(06)6621-4649**
FAX(06)6792-5993
〒581-8585　八尾市北亀井町3丁目1番72号

受付時間：月曜日～土曜日　午前9時～午後6時
　　　　　日曜日・祝日　　午前10時～午後5時
(年末年始は除きます。)

■製品の故障や部品のご購入などの相談
「修理ご相談センター」へお申し付けください。
(くわしくは、66ページをご覧ください。)

修理サービスを依頼される前に、63ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度お読みください。

シャープ株式会社

本　　社	〒545-8522	大阪市阿倍野区長池町22番22号 電話(06)6621-1221(大代表)
AVシステム事業本部	〒329-2193	栃木県矢板市早川町174番地 電話(0287)43-1131(大代表)

TINS-4103GEZZ
PRINTED IN CHINA

E56A2JD　★★★★★
0VMN02960/02P02-JCF